紫友 会報第一一〇号 平成二十一年十二月 社団法人 京都府獣医師会

紫友

会報第110号

平成21年12月

社 団 法 人

京 都 府 獣 医 師 会

◯表題「紫友」の説明

表題の「紫友」は、会報第82号で紹介したとおり近代書道家の中国水墨画家　王石明氏（京都市立芸術大学卒）の揮毫によるものである。

紫は昔から高貴、優雅な色とされ、深く、浅く、粋を伝え、高位の公家や僧侶の着衣に用いられていた。

また、動物を象徴しているとも言われている。

旧陸軍獣医部制服の襟章は紫色を用いていた。

京都府の府章やプロサッカーのパープルサンガのユニフォームの色にも用いられ、京都を表現している。

パープル調であれば、京都府の獣医師として心が通じあえて、心がひとつになれる仲間でありたい。

◯表紙「写真」の説明

京都府主催の平成21年度動物愛護写真コンクールで入選し、京都府知事賞を受賞された作品の２点を掲載しました。

向かって左は、題名“仲良し５人組”（水谷隆彦さん　京都市在住）、

右は、題名“仲　良　く　ね”（内藤雅夫さん　南丹市在住　本会会員）、

の作品です。

目　　次

◎　第87回近畿地区連合獣医師大会開催される…… 1

◎　平成21年度近畿地区三学会開催される…… 5

◎　「人と動物の共通感染症」講演会の開催及び第６回北近畿の都「福知山産業フェア」への参加 …… 8

◎　平成21年度全国食鳥検査指導機関情報連絡会議開催される……12

◎　平成21年度食鳥検査機関協議会近畿ブロック会議が開催される……13

◎　2009動物感謝デーｉｎ　ＪＡＰＡＮ開催される ……14

◎　畜産振興と家畜衛生

○　広域防疫対策センターの活動内容と専門家チーム会議の開催　京都府農林水産部畜産課……16

○　国際獣疫事務局（ＯＩＥ）アジア・太平洋地域会議（京都会議）の開催について　京都府農林水産部畜産課……17

○　平成21年度高病原性鳥インフルエンザ防疫演習　京都府農林水産部畜産課……17

○　「知って得、とり・たまごの集い」の開催　京都府農林水産部畜産課……19

○　平成21年度秋期全国鶏病技術研修会－京都府で開催－　京都府農林水産部畜産課……21

○　乳牛（14歳）が生涯生産乳量10万キログラムを達成　京都府南丹家畜保健衛生所……22

○　サポートカウ～杉本好美氏あけぼの賞受賞　京都府中丹家畜保健衛生所……22

◎　公衆衛生と動物愛護

○　平成21年度動物愛護管理関係表彰式　京都府健康福祉部生活衛生課……24

○　狂犬病予防注射済票が変わります!!　京都府健康福祉部生活衛生課……24

○　京都府動物愛護管理センター献花式　京都府動物愛護管理センター……26

○　食鳥検査実施表（月別一覧）……27

◎　小動物診療と動物福祉

○　小動物よもやま話　ＸⅦ　～ビーグル……28

◎　事務局日誌（平成21年８月～12月）……29

◎　役員会、委員会等の開催概要……31

◎　今後の事業計画と行事予定（平成22年１月～３月）……31

◎　支部だより

山城支部　相楽犬猫慰霊祭（蟹満寺）犬の適正飼養推進協議会 ……32

精華祭　犬猫健康相談会

京都支部　ワンワンセミナー……34
南丹支部　研修会　動物慰霊祭……34
中丹支部　支部研修会……35
丹後支部　支部役員会　ＨＰＡＩ防疫演習　ＨＰＡＩ検査研修会……35

◎　部会だより
総合部会　　総合部会研修会……37
産業動物部会　産業動物部会研修会……38
小動物部会　　平成21年度第２回学術講習会（中毒）……38
公衆衛生部会　平成21年度総会……38

◎　獣医師の職場紹介
京都府府庁（生活衛生課、畜産課、食の安心・安全推進課）……39

◎　新入会員のプロフィール
中丹支部２名……40

◎　お知らせコーナー　　事務局
○　税に関する相談、法に関する相談について……41
○　獣医師会会員証作成申込みの締切りについて……41
○　個体識別マイクロチップ普及事業の実施について……41
○　退職のご挨拶　　前事務局長　藤原　勝美……42
○　着任ご挨拶　　新事務局長　比留木俊信……42

◎　会員の広場
○　映画「犬と猫と人間と」を鑑賞して　　京都支部　安田　信宏……43
○　通院から学ぶこと　　南丹支部　伊東　　敏……44
○　獣医師の社会的経済的地位の向上について　　中丹支部　平野　　力……44

◎　投 稿 欄
○　京都府畜産職員退職者会（九竹会）について　　山城支部　古東　淳夫……46
○　畑　　南丹支部　上羽智恵美……48
○　コウノトリ観察の楽しみ　　丹後支部　仲井真由子……49

◎　統計速報
○　京都府内家畜伝染病及び届出伝染病発生状況……50
○　ＢＳＥ発生状況……51

◎　一般広告……53

◎　編集後記……58

第87回近畿地区連合獣医師大会 盛大に開催される

本大会は、平成21年９月27日（日）に和歌山市の「ホテルグランヴィア和歌山」において、農林水産省消費安全局長代理動物衛生課長の川島俊郎氏、厚生労働省医薬品局長代理、環境省自然環境局長代理、和歌山県知事代理農林水産部長、社団法人日本獣医師会山根義久会長ら多数の来賓の出席を得て、午後１時から開催されました。当日の出席会員は214名で、本会から15名が出席しました。

開会に当たり、近畿地区連合獣医師会長玉井公宏会長（和歌山県獣医師会会長）、社団法人日本獣医師会会長山根義久氏から次のとおり挨拶がありましたので、ご紹介します。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

近畿地区連合獣医師会　玉井公宏 会長

皆様こんにちは。和歌山県獣医師会の玉井でございます。

本日はご公務多忙の中、ご臨席賜りました来賓の皆様、また、多数ご参集くださいました近畿地区の獣医師の皆様に厚く御礼申し上げます。

本大会は、和歌山県、和歌山市ご当局のご支援の下、県内外の関係諸氏、諸団体のご協力をいただき、和歌山県獣医師会の会員、役員、事務局が誇りを持って開催準備に当たってまいりました。不行届きな点もあろうかと存じますが、まごころで皆様を歓迎申し上げます。

さて、まさに獣医師の仕事は、多岐広範に亘っております。それぞれの分野における広く真摯な活躍は、国民生活にとって欠くことの出来ない重要な仕事であり、重い責任を伴っています。しかしながら、その実務の多くは縁の下の力持ちとして決して目立つものではありません。相応に評価されていない場面もあります。このことは、本年７月31日付け、毎日新聞「記者の目」欄に、客観的な調査取材記事として好意的に取上げられました。

かねてから、獣医師会は広報活動、関係各方面への要請活動等、問題点の整理、改善策の実行に努力してきておりますが、本日、感謝状、表彰状が贈呈される皆様のご功績をはじめ、先達から脈々と引き継がれる伝統とロマンの上に、獣医師会という実働する組織として、更に洗練された活動を展開してまいりたいと思っております。

私たち獣医師会は、また、同時に科学者の集団として学術団体であることも求められています。本日、優秀研究・奨励研究の褒章が贈呈される会員はじめ、多くの皆様が大学の先生方とともに、会員獣医師をさらに刺激指導してくださることにより、獣医師としての活躍、業務が、より高い学識に裏付けられて参ります。

ただし、これらの組織活動も学術研究も、単に会員の利益・福利のみを目的としたものであってはなりません。その目的と結果が社会の公益に適っていなければなりません。

昨年12月、法人の公益活動を奨励・支援するとの理念の下で、第三者による厳しい公益認定を基本とする新公益法人制度が法改正・発足しております。私ども近畿地区の獣医師会は、本日ご臨席の山根義久日本獣医師会会長、蔵内勇夫同副会長のスマートで強いリーダーシップのもと、新公益社団法人への

移行認定を目指してまいります。組織としての公益性をより明確に具現し、社会の要請に応えうる公益法人の一層の責任を果たしてまいります。

会員の皆様におかれましても、公益法人獣医師会の存在意義を考え、自らの愛着ある組織として、当事者感覚・帰属意識を一層高めていただきたいと思います。

本日の近畿地区連合獣医師大会では、社会情勢と国民の意識が大きく変化しつつある中での獣医師会の対応・活動について理解を深めていただき、共通の認識の下、高い公益意識を持った獣医師・獣医師会のありようについて、議論を交わしていただけることを願っています。

本日の大会が、獣医師会組織の基盤強化につながっていくきっかけとしても有意義なものとなれば、開催担当者として喜ばしい限りです。本日一日どうぞよろしくお願い申し上げます。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

日本獣医師会　山根 会長

皆さん、今日は！　紹介に預かりました日本獣医師会会長の山根義久でございます。第87回の近畿地区の大会が盛大に開催されますことをお喜び申し上げる次第でございます。

また、この大会を担当されました和歌山県獣医師会の玉井会長様を始め、関係各位に対しまして深く敬意を表する次第でございます。また、後ほど永年の獣医事功労によりまして、また研究業績によりまして表彰をお受けになられます先生方に対しましても敬意を表します。どうか、今後とも斯界のためにご活躍頂きますことをご祈念申し上げるところでございます。

皆さんもご存知のように、この一年大変な状況になっております。米国のサブプライム問題に端を発した100年に１度の大不況でございます。そして先だっての８月30日の衆議院選挙における自民党の大惨敗でございます。おそらく、私、個人的には人間のおごりから生じた結果ではないかと思う訳でございます。日本獣医師会は、決して二の舞にならないようにこれから頑張らなければならないと思っております。

幸か不幸か、私は３期目の会長を６月25日の第66回総会で推挙されまして、受けることになりましたけれども、本日ここにお見えの蔵内副会長、中川副会長、大森専務、更に一部で変更はございましたが、職域担当の理事、地区担当の理事、それに監事と一丸となって難局を乗り切ろうと思っている訳でございます。

今日も大会決議がたくさん出ていますが、昨年も全国から43出ていました。

その内の多くは、獣医学教育の充実をなんとかしろという力強い声でございます。もう一つは公務員獣医師特に勤務獣医師の処遇改善を何とかしろ、そうしない限りはこの獣医師の偏在問題は解決しないということでございます。更に、動物医療の改革、特にパラメディカル分野の立ち上げをなんとかしろというお声もいただいています。

この厳しい環境の中で、いろんな明るい材料も出てきています。昨年の暮れに文部科学省が「獣医学教育の改善充実に関する調査研究協力者会議」を立ち上げました。日本獣医師会としても願ってもないことでございますので、一致協力して頑張ろうと思って今、事を進めております。

先だって漸く７回目の委員会を終りまして、事前打ち合わせを２回繰り返して、10月１日に最終の８回目を開いてまとめに入る訳でございます。どういう結果になるか誰にも分りませんが、初めてのことですが漸く文面の中に大学の再編整備、これしかないということに落ち着くのではないかと思います。

当然、国はその裏づけとして実効ある結果を出すためには、予算化を視野においていかなければならないことでございます。

更に農林水産省としては、10年振りの計画部会が立ち上がった訳でございます。私は、計画部会長として引き受けたからには実効ある結果を出したい。これまでの経過を見ますと、皆念仏に終わっている。なんら実効ある結果がでていませんので、これを何とかしたいということで、４つのワーキンググループを立ち上げました。

その一つとして、小動物分野のワーキンググループが立ち上がった訳でございます。そして、実効あるとはどういうことかと申しますと、視野の中に予算化を入れておかねばならないということであります。こういう状況でございますから、全ては難しいかも分りませんが、工程表を作って一番急がなければならないもの、緊急度の高いものから手がけて行こうと思っている訳でございます。

今日、幸いなことに東京から川島課長が出てもらっています。この間もお話させていただいて、非常に意欲のある課長だなと大いに期待していまして、今日はたまたまスローガンを見ますと、「畜産振興の再構築とその対策について」とタイトルが出ていますが、この後意見交換会があるようですので、忌憚のない意見を川島課長に向けて頂ければありがたいと思います。恐らく課長は大きな懐の中に仕舞い込んで、実行していただけるのではないかと期待しているわけです。

色んな関係各位の協力によりまして、永年の念願でありました動物医療におけるパラメディカル分野で漸く全国組織が一つ立ち上がったのでございます。人間の医療におきましては、国家資格のあるパラメディカル分野が20ほどあります。動物医療ではなかった訳ですが、日本的な組織が出来た以上はなんとか数年後には国家資格にもっていきたい。それには一致団結した国民の理解のある公益的な法人でなければ、税金を使った国家資格の意味がないことになる。自明の理であります。そのためには、我々に課せられた国民に対する使命は計り知れないものがあるのではないかと思う訳でございます。

関係各位のご努力によりまして、勤務獣医師特に公務員獣医師の処遇改善がかなり進みつつあります。私の知る限りでも12県以上が具体的行動をしていただいた。ありがたいことだと思います。念願であったことでございます。これによりまして獣医師の偏在問題が少しは緩和されるのではないかと思う訳でございますが、よく考えますと、これをお認めなさった自治体は、それだけの期待を持って認めて頂いた訳で、我々は、国民に目を向けた活動をしていくことが重要です。権利を要求するなら義務を果さなければならない訳でございます。その点におきましても、もう一度皆様の理解と支援を願いたい。

それに公益社団法人改革が目の前に来ているどころか、もう始まっています。出来れば55の会員がこぞって公益社団になっていただきたい。それには、まず財政基盤をしっかりしなければならない。

私も、２期勤めさせていただいて漸く日本獣医師会の全貌とはいわないが、内容がわかってまいりました。一番弱いのは財政基盤でございます。この基盤をしっかりしなければ公益法人といえないのではないか。社団法人はご存知のように人頭税メンバーフィーで運用するのが大義名分であります。今、日本獣医師会の会計を見ると、会費の占める割合がたかだか20％に過ぎない。こんな状況で果たして社団法人になれるか。これは、ＮＯといわざるを得ない。なんとかしなければならない。会費の増額は簡単には口に出すことはならない。それならそれをできるのは会員増強です。しかし、日本獣医師会は、会員増強をしようと思いましても、その詳細は掴む術もない訳でありまして、これが出来るのは、地方会であります。新しく入られたライセンスのある先生方を獣医師会に入っていただいて、共に活躍し、国民に目を向けた事業展開をして社会貢献していくしかない。そのためには、会員増強の展開に向けて頑張ってほしいと思う訳でございます。

また、意見交換の中で出るかも分りませんが、先ほど玉井会長にもお願いしていたのですが、漸く、全国組織の看護職協会が立ち上がったのでございます。一般法人でスタートしました。これは是非ご理解いただきまして、獣医界の発展につながる訳でございますので、皆様の病院におられる看護師さんも会員になっていただいて、国家資格に向けて一丸となって努力をしていきたいと思いますので、ご理解とご支援をお願いしたいと思います。

いろんなお願い事ばかりで申し訳ございませんが、このような世の中でございますから、逆にこれをチャンスと捉えて頑張ったらどうかと思います。

うれしいことに、今、農業が注目されてきました。農業が栄えるということは畜産が栄えるということ、畜産が栄えるということは獣医界にとりましても大きな働く意義が生まれてくる訳でございます。是非とも、このチャンスを逃さず、我々はステディに、着実に、改革を進めていきたいと存じます。

最後になりましたが、この大会が有意義なる大会になりますことを祈念しまして、私の挨拶といたします。

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

褒　賞　授　与

各種褒章の贈呈が行われましたが、本会関係の受賞者及び受賞の理由は次のとおりです。

○日本獣医師会会長感謝状

●長谷川修一氏（京都支部）

畜産振興、家畜衛生向上への尽力及び獣医師会発展に対する貢献

○近畿地区連合獣医師会会長表彰状

●土家敏嗣氏（中丹支部）

家畜衛生向上、畜産振興、食鳥検査及び獣医師会の運営における功績

●髙橋昭雄氏（中丹支部）

公衆衛生、食品衛生の監視指導、狂犬病予防事業、動物愛護事業に尽力及び獣医師会活動における功績

○日本獣医三学会奨励研究者褒章

●日本産業動物獣医学会（近畿）

田中義信氏他、

「一酪農場における牛白血病ウイルスの伝播様式」

八谷純一氏、

「ＧＩＳ（地理情報システム）を用いた防疫マップシステムの構築」

森一憲氏他

「乳用牛における精製下垂体性性腺刺激ホルモン（ｐｕｒｅＦＳＨ）併用投与による過剰排卵処理技術」

●日本小動物獣医学会（近畿）

小澤剛氏他

「ミニュチュア･ダックスフントの多発性関節炎・多発性筋炎症候群２例」

議　　事

来賓祝辞に続き、議事に入り、次の５議案が審議され、満場一致で可決されました。

第１号議案　畜産振興の再構築と対策について

第２号議案　狂犬病予防注射接種の強化と推進について

第３号議案　大阪府立大学獣医学部設置について

第４号議案　獣医療法の広告規制に関して

第５号議案　第88回近畿地区連合獣医師大会並びに平成22年度日本獣医三学会（近畿）担当獣医師会の決定について

社団法人大阪市獣医師会が担当を受諾表明

９月５日(日)ホテルグランヴィア大阪において開催予定

大会終了後、市民公開特別講演が行われ、多くの出席者が熱心に聴講していました。

演題　「食の安全性について」

講師　厚生労働省横浜検疫所輸入食品検疫検査センター長　　滝本浩司先生

最近の話題

半数以上が身近に感染者　新型インフル調査

身近で新型インフルエンザの感染者が発生した人の割合が50.8％に上ることが、博報堂などの10月中旬の調査で25日、分かった。このうち感染者が子供の通う学校、塾の先生や生徒だった人は35.9％、友人・知人が31.1％、勤務先の上司、同僚が18.0％。

また新型インフルエンザに不安感を感じている人は73.4％と、国内感染が判明して騒ぎが広がった５月中旬の調査時よりも15.4ポイント高まった。同社は「身近な感染者が増えたことで、切実な問題としてとらえざるを得ない状況がうかがえる」と指摘している。

調査は10月17日、18日に実施。インターネットで657人が回答した。　（京都新聞　09.11.26(木)）

平成21年度近畿地区三学会開催される

本学会は平成21年10月18日(日)新築移転された大阪府立大学りんくうキャンパス（獣医学舎）及びりん空国際物流センターにおいて開催され、近畿地区各獣医師会から285名の会員が出席し、そのうち本会からは30名の出席がありました。

関西空港の一つ手前の駅ということで、遠くなったという感じでしたが、行って見ますと比較的交通の便は良く、堺の前の校舎まで白鳥駅から歩くことを思うと、そう変わらないなと感じました。まだ、行っておられない方は、次回には是非お出かけください。

獣医三学会（近畿）では京都府代表の評議員や審査員として次の先生方にお世話になりました。また、次の年度からは下の段の先生方におせわになりますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

		産業動物		小動物	公衆衛生
評議員	20～21年度	谷口和紀		松原利行	安藤明典
	22～23年度	西野洋		松原利行	安藤明典
21年度審査員		石川俊彰	西野洋	赤井哲夫	安藤明典

平成21年度日本獣医三学会（近畿）における本会会員の講演演題名

No.	学会区分	所属	氏名	演題名
1	日本産業動物獣医学会	京都府南丹家畜保健衛生所	杉浦伸明	管内養豚農場における発育不良豚の感染症モニタリング
2		京都府中丹家畜保健衛生所	森一憲	大規模農場で実施した意識向上を目的とした出前勉強会の成果
3		京都府中丹家畜保健衛生所	八谷純一	養鶏場における飲水の理化学的性状と消毒効果
4		京都府中丹家畜保健衛生所	山内幸	一酪農家における総合的な担い手支援の取り組みと課題
5		京都府丹後家畜保健衛生所	八倉寿代	一和牛繁殖農場での牛呼吸器複合病（BRDC)に対する予防衛生対策
6	日本小動物獣医学会	小澤動物病院	小澤剛	ペンブローク・ウェルッシュ・コーギーの変性性脊髄症における臨床的診断法の検討
7		小澤動物病院	中本裕也	今後注意すべき柴犬のGMIガングリオシドーシスを早期に疑うための特徴的臨床所見
8	日本獣医公衆衛生学会	京都府中丹西保健所	水谷敢太郎	牛の悪性水腫の一例

近畿地区各獣医師会等の出席人数は次のとおりでした。

	産業動物	小動物	公衆衛生	その他	計
三重県獣医師会	８	２５	８		４１
滋賀県獣医師会	７	１８	５		３０
京都府獣医師会	１８	５	７		３０
大阪府獣医師会	３２	５９	１５		１０６
兵庫県獣医師会	２４	２５	５		５４
奈良県獣医師会	７	１８	６		３１
和歌山県獣医師会	１６	２２	１２	２	５２
京都市獣医師会	２	１０	３		１５
大阪市獣医師会		３３	５		３８
神戸市獣医師会	２	１１	２		１５
合計	１１６	２２６	６８	２	４１２

また、近畿地区の今年度の優秀研究褒章及び奨励研究褒章は次表のとおりと決定しました。

平成21年度日本産業動物獣医学会（近畿）優秀研究褒章

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会	選考理由
A3	管内に発生したアカバネ病の流行期毎の病態観察	○富田啓介[1)]・加茂前仁弥[2)]・中条正樹[1)]・加茂前優花[1)]　石井　淳[1)]・小浜菜美子[1)]・浦本京也[1)]	1）兵庫県姫路家保 2）兵庫県淡路食肉衛検	兵 庫 県	アカバネ病の病態が流行の進行時期に伴って変化することを示した点と流行中期まではRT-PCRによる診断が有効であることを示した点などが評価された。
A13	ヨーネ病におけるリアルタイムPCR法とエライザ法の結果の検討	○石井　淳[1)]・松本拓也[1)]・石川　翔[1)]・加茂前仁弥[2)]・加茂前優花[1)]・富田啓介[1)]・岡野康行[3)]・浦本京也[1)]	1）兵庫県姫路家保 2）兵庫県淡路食肉衛検 3）兵庫県但馬食肉衛検	兵 庫 県	エライザ法とリアルタイムPCR法によるヨーネ病摘発の精度を検討し、これらの検査を組み合わせることの重要性を示したことが評価された。
B3	黒毛和種肥育牛における肉色を中心とした枝肉成績と出荷前の血液性状	○菅　保礼[1)]・井上雅介[1)]・山村佳宏[2)]・住　伸栄[3)]・玉井　登[3)]・久野尚之[3)]・山本直史[3)]・畠中みどり[4)]	1）兵庫県農共連　東播家畜診 2）兵庫県農共連　西播家畜診 3）兵庫県農共連　淡路家畜診 4）兵庫県農共連　臨床研修課	兵 庫 県	黒毛和種肥育牛において、ビタミンA低下が摂食量に影響して枝肉成績を悪化させている可能性を示したことが評価された。
B9	ポリジメチルシロキサン製マイクロウェルを用いて作製したウシ体外受精胚の移植による受胎	○谷口俊仁[1)、2)]・福原順子[1)、3)]・岩本太作[2)]・加藤暢宏[2)]・佐伯和弘[2)]	1）和歌山県農技セ畜試 2）近大生物理工 3）現 和歌山県動愛セ	和歌山県	演者らが開発した方法で培養された単一のウシ体外受精胚は従来の集合培養法で発育した胚と同等の受胎能があることを示したことが評価された。

平成21年度日本産業動物獣医学会（近畿）奨励研究褒賞

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会
A5	牛丘疹性口炎の発生と浸潤状況	○佐織德彦・三木隆広・野間　進	兵庫県和田山家保	兵 庫 県
A6	地域の牛ウイルス性下痢ウイルス清浄化対策	○梁瀬　博・大西　真美・小田　修一・菅　保礼・井上　準・森本　啓介	兵庫県農共連　東播基幹家畜診	兵 庫 県
A12	Protothecaによる乳房炎発生事例	○平塚　恵子[1)]・小林　登[2)]	1）三重県北勢家畜保健衛生所 2）三重県中央家畜保健衛生所	三 重 県
A14	管内養豚場における発育不良豚の感染症モニタリング	○杉浦伸明[1)]・川島康成[1)]・藤野日出海[2)]	1）京都府南丹家保 2）京都府農林水産技術センター	京 都 府
A15	一和牛繁殖農場での牛呼吸器複合病（BRDC）に対する予防衛生対策	○八倉　寿代・田中　義信・極山　太	京都府丹後家保	京 都 府
B6	高泌乳牛の分娩後における卵巣活動と代謝プロファイル及びボディコンディションとの関係	○山口悦司・生田健太郎・片岡　敏	兵庫県農技総セ淡路農技セ	兵 庫 県
B8	超音波診断装置を活用した牛の繁殖成績向上指導	○篠倉和己[1)]・小鴨　睦[1)]・上田睦人[1)]・日下部麻子[2)]・清水泰統[3)]・岡田啓延[1)]	1）兵庫県洲本家保 2）兵庫県姫路家保 3）兵庫県畜産課	兵 庫 県
B10	黒毛和種繁殖牛（但馬牛）の分娩間隔短縮のための繁殖成績分析及び向上指導	○木伏雅彦[1)]・名部美琴[1)]・大田秀樹[2)]・島田昌彦[1)]	1）兵庫県和田山家保 2）兵庫県加古川農林	兵 庫 県
B13	有用微生物資材投与が黒毛和種肥育牛の産肉性に及ぼす影響	○岩本英治・岡　章生	兵庫県農技総セ畜技セ	兵 庫 県
B15	一酪農家への総合的な担い手支援の取り組み	○山内　幸[1)]・岡田幸太[2)]・西井義博[1)]・渡邊英史[1)]	1）京都府中丹家保 2）京都府丹後家保	京 都 府

平成21年度日本小動物獣医学会（近畿）優秀研究褒章

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会	選考理由
C-7	犬の前十字靭帯断裂症例に行った関節鏡検査の有用性	山口　　力	ファーブル動物医療センター	大 阪 府	今だ，臨床応用の少ない関節鏡を使用して、100例以上の罹患関節を観察して前十字靭帯断裂状態における半月板損傷の評価を行った研究内容は、新規性が大きくまた，明瞭な成績を提示して、今後の臨床に大きく貢献することを評価した。
C-14	犬猫の自然発生腫瘍に対するインドシアニングリーンを用いた光線温熱化学療法39例	小野山　真生	小野山動物病院	兵 庫 県	腫瘍に対する新しい治療法を検討した研究内容であり、その成績も良好であり，さらにサイトカインの変動も評価の一助とした論理的な研究成果であり、優秀であると評価した。
D-6	炎症性腸疾患（IBD）に膵炎を併発したイヌの一例	猪子　景子	安田動物病院	兵 庫 県	１症例の病態を必要とする検査すべてを確実に実施して炎症性腸疾患からの膵炎の合併症の危険性について指摘するとともに、その診断法についても言及しており優秀であると評価した。

平成21年度日本小動物獣医学会(近畿）奨励研究褒賞

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会
C-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術を行った犬の３例	金井　浩雄	かない動物病院	兵 庫 県
C-9	消化管に病変を形成したT細胞性Low-grade Lymphomaのイヌの１例	舛方　祐子	安田動物病院	兵 庫 県
C-22	犬の胸腰部椎間板ヘルニアにおけるコハク酸メチルプレドニゾロンの効果	西田　英高	中山獣医科病院	奈 良 県
C-28	今後注意すべき柴犬のGM1ガングリオシドーシスを早期に疑うための特徴的臨床所見	中本　裕也	おざわ動物病院	京 都 府
D-7	保冷剤の摂食によるプロピレングリコール中毒の犬の１例	多田　裕治	吉田動物病院	奈 良 県
15	ウサギの卵巣子宮疾患の101症例に関する検討	山崎　了経	北須磨動物病院	神 戸 市
18	三重県中勢地区における猫膀胱内寄生毛細線虫の調査	森岡　正樹	アニー動物病院	三 重 県
19	大豆アレルギーを併発した犬アトピー性皮膚炎の１例	中野　　香	中野動物クリニック	兵 庫 県
30	予防的網膜固定術を行った犬の２症例	小山　博美	ネオベッツVRセンター	大 阪 市

平成21年度日本獣医公衆衛生学会（近畿）優秀研究褒章

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会	選考理由
E-14	松坂牛文化ミュージアム	山本　友美	三重県松坂食肉衛検	三 重 県	獣医公衆衛生学上の重要課題である「食肉の安全・安心確保」に向けた取り組みの一環として、「ミュージアム」という親近感のある概念と組み合わせながら、幼児から高齢者まで幅広い年令層の消費者に対する啓発活動を展開している。その斬新なアイデアと、精力的な取り組み姿勢、また消費者からのアンケート結果が良好であることを勘案した結果、非常に優れた発表内容であると評価し、本褒賞に選考した。

平成21年度日本獣医公衆衛生学会(近畿）奨励研究褒賞

演題番号	タイトル	発表者氏名	発表者所属	所属獣医師会
E-3	大阪府の犬におけるジフテリア毒素産生性Corynebacterium ulceransの保菌状況と分離菌株の解析	勝山　千尋	大阪府公衛研	大 阪 府

「人と動物の共通感染症」講演会の開催及び第６回北近畿の都「福知山産業フェア」への参加

平成19年度から㈳京都市獣医師会と共同で開催してきた府民公開フォーラムが、今年は京都市獣医師会の都合により開催できなくなったため、急遽、支部長及び部会長さんに集まっていただき、本会行事の開催について協議願いました。

その結果、京都市内で府民公開の講演会の開催と新たな取り組みとして、府北部で開催される地域イベントへの参加を計画し、清水副会長に関係機関との調整をお願いして、福知山産業フェアへの参加が決まりました。

この二つの行事を推進するに当たり、京都府生活衛生課、中丹西保健所、中丹家畜保健衛生所の皆さんに多大のご協力をいただきました。お礼を申し上げます。

なお、地域イベントへの参加は初めての試みであり、試行錯誤の中でのスタートではありましたが、中丹支部に全面協力をいただき、役員並びに小動物部会の会員を中心に、展示等の企画、パンフレットの作成及び調達から当日の展示物の説明等、終始お世話になりました。主催者や来場者の評判もよく、大成功のうちに終えることができました。ご協力ありがとうございました。　（会長　原　哲男）

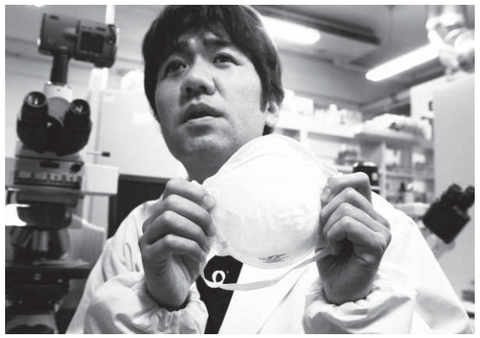
「人と動物の共通感染症」講演会の開催

京都府獣医師会

平成21年10月28日（水）京都府の後援を得て、京都市内のルビノ京都堀川において上記の講演会を開催しました。

京都府主催の「動物愛護写真コンテスト表彰式並びに動物愛護推進員委嘱式」や「市町村狂犬病予防担当課長会議」に併せて開催し、本会の各支部、各部会の熱心な取り組みにより衛生の先端で活躍しておられる専門家等を中心に80名の出席を得ることができました。

講師は京都府立大学生命環境科学科動物衛生学研究室の塚本康浩教授にお願いし、現在蔓延中の新型インフルエンザ等多くの疾病対策に貢献が期待される研究の概要について「ダチョウ卵黄を用いた感染症防御用資材の開発」と題して、講演をしていただきました。



「人と動物の共通感染症」講演会開会あいさつ

京都府獣医師会副会長　若松久雄

京都府内の皆様がお集まりいただく折角の機会でございますので、京都府獣医師会としまして、「人と動物の共通感染症」講演会を府民公開講座として企画し、京都府の後援を得まして開催することができました。本来、原会長がご挨拶すべきところですが、府召集の会議と重なりましたので、副会長の若松がご挨拶を申し上げます。

塚本先生には多忙な中、本日のご講演に時間を割いていただきまして厚く御礼申し上げます。

動物は、人に大きく貢献しておりまして、大きく分けますと動物性たんぱく質の供給源としての産業動物、人の心に潤いを与えてくれる伴侶動物、科学の発展に欠かせない実験動物、また、動物界の大半を占めている野生動物のそれぞれが、人の暮らしに深い関係を持ちながら存在しております。私ども獣医師は、動物の命と健康を守ることが、人の命と健康を守ることに繋がっていると考えております。

現在、人の感染症の病原体は約1,400種類あり、そのうち実に60％が動物との共通感染症の病原体であるといわれております。また、動物の感染症の77％が動物間の異種動物との共通感染症の病原体になっているとの報告があります。共通感染症対策は、人の健康を確保する上で重要な課題です。

狂犬病予防法は昭和25年８月に施行され、国内での犬の発生をなくす大きな成果を挙げてきましたが、平成18年にフィリピン帰りの人が、京都市、横浜市で相次いで発症して亡くなった事例が示すとおり、狂犬病はアジア、アフリカ、南米で流行し、世界で毎年50,000人以上の人が死亡している重大な感染症です。

これにも増して、当面の脅威となっているのが、鳥インフルエンザ、新型インフルエンザです。そこで、本日は府民生活の安心・安全のために活動する京都府獣医師会としまして、新型インフルエンザの予防に関する講演会を開催させて頂きました。

本日ご講演をいただく塚本先生のプロフィールは別紙に詳しく掲載されていますので、ご覧頂きたいと思いますが、先生は獣医師でもあり、昨年から京都府立大学でご活躍されている新進気鋭の先生であります。昨年６月には、産学官連携功労者表彰「文部科学大臣賞」も受賞されております。短時間ではありますが、先生から直接お話を聞かせて頂く貴重な機会だと思いますので、ご期待いただきたいと思います。それでは塚本先生よろしくお願いします。

講演の概要は次頁の資料写しのとおりで、パソコンの映像を駆使しながら詳細をご講演いただきました。

【講師　塚本康浩教授のプロフィール】

1968年京都府生まれ。獣医師。獣医学博士。ダチョウ愛好家。

大阪府立大学農学部獣医学科卒業後、博士課程を修了し、同大学の助手に就任。家禽のウイルス感染症の研究に着手。同大学講師、准教授を経て、2008年4月に京都府立大学大学院生命環境科学研究科の教授に就任。

1998年からプライベートで、オーストリッチ神戸の牧場でダチョウの主治医に就任。

2008年６月にダチョウの卵から抽出した抗体から新型インフルエンザ予防用の画期的な“ダチョウマスク”を開発した。マスク以外にもダチヨウ抗体をもとにガン予防、美容まで様々な研究に取り組んでいる。

2008.6.20　産学官連携功労者表彰　「文部科学大臣賞」を受賞

受賞内容

「ダチョウによる新たな抗体大量作成技術を用いた鳥インフルエンザ防御用素材の開発」

受賞理由

ダチョウの卵黄を利用し、従来のマウスなどを用いる方法に比べ、低コスト（従来の1/4000程度）で大量に、反応性に優れた抗体を作成する方法を確立した。

（独）科学技術振興機構（ＪＳＴ）の支援を受けて設立した大学発ベンチャー・オーストリッチファーマ㈱で、高病原性鳥インフルエンザウイルスＨ５Ｎ１の感染力を不活化するダチョウ抗体を大量作製し、ＣＲＯＳＥＥＤ㈱が、インフルエンザ感染防御用の抗体マスクとして販売した。また、他のインフルエンザウイルスや病原体に対する抗体の作製にも成功し、今後も幅広い商品開発が期待できる。

最近の話題

猫に新インフル感染　米で世界初検出か

【ワシントン＝望月洋嗣】米獣医学協会は４日、米アイオワ州で新型の豚インフルエンザ（Ｈ１Ｎ１型）に感染した飼い猫が見つかったと発表した。同ウイルスはこれまで、豚や鳥、フェレット（イタチの仲間）から検出されているが、猫は世界初とみられるという。

同協会などによると、この猫は13歳で、飼い主の家で新型インフルにかかっていた人から感染したとみられている。ＡＰ通信によると、動きが鈍くなったうえ食欲がなくなり、呼吸も困難な状態だったが、アイオワ州立大学獣医学部で治療を受け、すでに回復したという。　（朝日新聞　09.11.5㈭）

第６回北近畿の都「福知山」産業フェアへの参加

第６回北近畿の都「福知山」産業フェアは平成21年10月24日（土）、25日（日）の２日間、福知山市三段池総合体育館をメイン会場として、商業、工業、農業の各機関団体が一体となった本格的な物産展として開催され、170事業所から250ブースに出展されました。来場者数は延べ６万人を超え、北近畿最大級のイベントでした。

本会は、体育館「メインアリーナ」の２ブースを借り上げて、「獣医師は動物の健康・人の食の安全・環境改善に貢献しています」をテーマに掲げ、パネルの展示説明、パンフレット等の配布及び個体標識用マイクロチップ普及啓発の模擬実演を行いました。

中丹家畜保健衛生所や中丹西保健所に対応していただきました展示パネルの内容は、次のとおりでした。

パンフレット「獣医師は動物の健康、人の食の安全、環境保全等に貢献しています」
（原画はＡ４版中丹支部の髙橋昭雄先生考案）

<産業動物関係>

畜産振興、家畜防疫及び家畜の衛生管理指導、安心・安全な畜産物の生産及び畜産環境保全に関する指導や検査に獣医師が広く従事していることを紹介。

<公衆衛生関係>

京都府が進める「食の安心・安全」について、食中毒予防に関する一般的知識の啓発及び食肉検査について紹介。

<小動物関係>

犬、猫等の小動物の診療及び健康相談、狂犬病など人と動物の共通感染症対策、動物愛護及び福祉、学校飼育動物及び野生動物の救護への対応などに獣医師が広く対応していることを紹介。

また、本会で作成したパンフレット「獣医師は動物の健康、人の食の安全、環境保全等に貢献しています」（原画は中丹支部の髙橋昭雄先生考案）のほか８種類、本会名入りのボールペン及び犬用、猫用のペットフード（試供品）を配布し、大変盛況でした。

平成21年度全国食鳥指定検査機関情報連絡会議開催される

全国の食鳥指定検査機関が、平成20年10月15日(木)14時に岡山市のアークホテル岡山の３階ホールに集まり、全国会議が開催されました。全国からは16機関の54名が参加し、当会からは、若松副会長、共立食鳥検査室の安村修さん、中丹食鳥検査室の大槻一愉己さんが出席しました。

開会に当たり、事務局担当の㈳青森県獣医師会の山内正孝会長から、「新型インフルエンザの流行が拡大する中、第16回全国連絡会議にご参集いただき厚くお礼申し上げます。２月には愛知県でウズラの弱毒性の鳥インフルエンザが発生し、今後、渡り鳥が渡来するシーズンを迎え、警戒していかなければならない。組織存亡に関わる公益法人改革、厚生労働省の事務運営の効率化、経済不況の中での食鳥肉価格の下落に伴う養鶏業者経営の圧迫など多くの課題がある。青森県では、ワクチンを検査員が優先的に接種できるよう交渉している。どうか本日の会議により各種事業が前進できるものとなるようお願いいたします。」との挨拶があり、続いて開催地からも挨拶がありました。

また、来賓として厚生労働省の加地祥文監視安全課長からご挨拶があり、次の内容が話されました。

「平成４年に法律が施行され、16年が経過しており、今更ながら時間の経過を早く感じている。指定検査機関制度により､獣医師をいかに確保するかが、当時も今も課題である。獣医師会など絶大なご協力をいただきき、現在では、地方自治体が行うものと変わらない検査体制を構築いただき、敬意とお礼を申し上げたい。今後も継続して体制の整備をお願い申し上げます。

平成19年度の卒業生1,200名中、公衆衛生獣医師になった人は40名、現在の従事者（公衆衛生行政従事者4,700名、農林行政従事者3,000名）から見ると約130名が必要である。圧倒的に不足しているが、再任用制度などでしのいでいる現状にある。

と畜場も「指定検査機関」との議論もでてきている。全体のパイはかわらない。大阪府･大阪市は行政に帰った。指定検査機関にしても確保は難しい。今、文部科学省も学生にアピールする方策をまとめている。衛生行政はグローバルスタンダードで、政権が変わっても変化するものではない。科学に立脚した行政が必要である。BSEで脊柱混入牛肉の課題も発生し、民主党は一つ混入してもストップし、全頭検査を行うとマニュフェストに記載しているが、安全性は変わるものではないという現実的な対応を図っていただくよう説明している。」

なお、次回は、四国ブロック・徳島県で開催されることが決まりました。

▼　研究発表された内容は次のとおりです。

①　食鳥処理過程の浸漬水、予備冷却水から分離された鶏病原性大腸菌、サルモネラ及びカンピロバクターの血清型と薬剤感受性
㈳福井県獣医師会食鳥検査センター

②　アヒルの食鳥処理場でみられたアスペルギルス症　㈳岩手県獣医師会食鳥検査センター

③　成鶏にみられた乾酪様物を貯留するミューラー管膿腫
㈳青森県獣医師会食鳥検査センター

④　食鳥処理場で産卵用雌成鶏にみられたミューラー管膿腫に関する一考察
㈳岡山県健康づくり財団食鳥検査センター

発表後、①②③を翌年１月に東京で開催される全国食鳥検査研修会に提出することが決定されました。

▼　会議で検討された内容は次のとおりです。

①　厚生局における事務の統一について
【㈶鳥取県食鳥肉衛生協会提案】

厚生労働省からは、「議事録の写し・議事録添付は不要、役員の選任解任の認可は必要、10月14日付けで通知した。」と回答されました。

②　新型インフルエンザにより食鳥検査休止を余儀なくされた場合の法的解釈について
【㈶岡山県健康づくり財団提案】

厚生労働省からは、「様々な事態が考えられるが、できない場合正当な理由がある。一部稼働等様々な事態が想定されるため､連携協議し、混乱が生じないようにしたい。」と回答されました。

③　公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に基づく移行認定申請などについて
【㈶鹿児島市獣医公衆衛生協会提案】

指定検査機関からの報告では、平成22年度に申請予定が３機関、平成23年度に申請予定が京都府を含め８機関、平成24年度に申請予定が１機関でした。残る４機関は検討中であり、組織そのものから見直しを検討しているのが２機関ありました。　（文責　若松久雄）

平成２１年度全国食鳥指定検査機関協議会近畿ブロック会議が開催される

近畿ブロックの食鳥指定検査機関が、平成21年11月13日（金）13時30分に和歌山市のホテルグランヴィア和歌山に集まり、会議が開催されました。出席者は､厚生労働省近畿厚生局の井上大作食品衛生課長、和歌山県食品・生活衛生課の玉木三朗課長補佐ほか４機関の10名が参加し、当会からは、若松副会長、比留木事務局長が出席しました。

近畿ブロックも大阪府内は行政が行うこととなり、平成21年度から６機関が４機関に減少してしまいました。会議は、平成20年度の事業報告及び平成21年度の途中経過について報告し、食鳥検査事業の現状と課題について話し合いました。鳥インフルエンザの簡易検査は、受入鶏が３％以上死亡している場合に実施されており、死鳥など廃棄物の問題やその経費負担状況、書類の保存規定の短縮化、検査員確保対策など具体的な課題について協議しました。

その後、和歌山県環境衛生研究センター研究員から次の課題について講演がありました。

①　カンピロバクターについて
（桑田昭研究員）

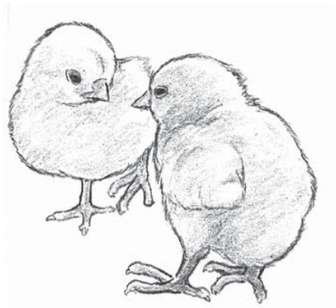
②　新型インフルエンザについて
（寺杣文男主査研究員）

▼　**近畿ブロック検査機関の概要**（H20年度）

区　　分	処 理 場	処理羽数	不合格率	手 数 料	検 査 員
㈳福井県獣医師会	1	579,920羽	1.4 ％	５円	４名常勤
㈳和歌山県獣医師会	2	4,474,051	7.35	5	３名常勤
㈳京都府獣医師会	2	3,728,289	1.2	3	12名
㈳京都保健衛生協会	1	733,928	1.22	3	８名

※和歌山県の不合格率が高いのは、育種・養鶏同一経営者の影響と説明あり。

（文責：若松久雄）



2009動物感謝デー in JAPAN開催される

２００９動物感謝デー in JAPAN に参加して

京都支部　安田信宏

平成21年10月３日(土)東京都世田谷区にある駒沢オリンピック記念公園において「２００９動物感謝デーin JAPAN」が開催されました。その事業内容の視察をしてきましたので、本紙面をお借りし、報告させていただきます。

京都で前日から降り始めていた雨が東へ移動し、当日の東京は生憎の雨模様で傘を差して会場へ入ることになりました。開会式には来賓として４名の国会議員が出席され、それぞれの先生が挨拶の中で動物関連行政についてお話し下さいました。内容としては、今秋に発売された動物愛護週間制定60周年記念切手には寄付金（１枚につき５円）が付いており、これが動物愛護事業に使われるという話や、来年度から日本各地に動物のシェルター（保護施設）が作られる計画だという話など、動物愛護に関する意識が益々高まっていることを実感できるものでした。動物を愛する精神の広がりが、他者を思いやる平和な社会の実現へと繋がっていくことを願って止みません。

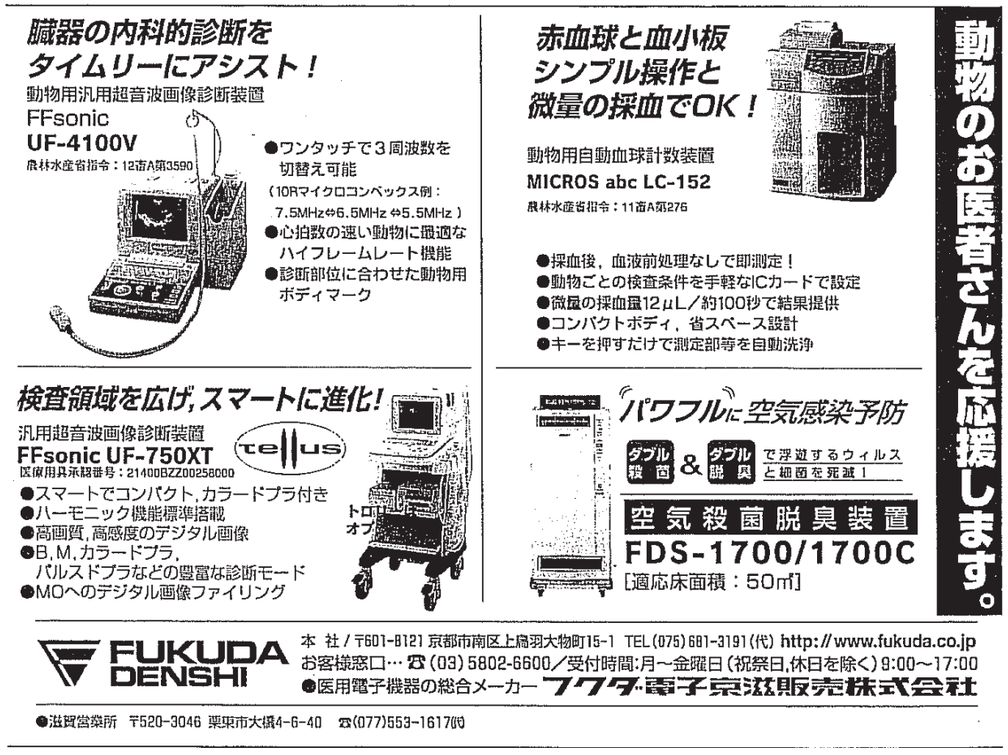
会場で一番張り切っていたのはボランティア参加の専門学校の女子学生さんたちでした。人数も多く、元気で華やかな雰囲気を演出しており、イベントの運営上、大変重要な働きをしてくれていたと思います。また、アトラクションに登場する動物たちも活躍していました。開会宣言書を運んだ鷹、見事な演技を見せてくれたトリック・ホース、そこに居るだけで存在感抜群のリクガメ、迫力満点の警察犬など、動物好きにはとても楽しいイベントでした。

午後からは、天気も回復し、動物同伴可の会場には、飼い主に連れられた犬がたくさん集まってきました。皆さん、しつけ教室や写真撮影会などに積極的に参加して楽しく過ごされていたようです。

さて、この催しのコンセプトは「知っていますか？獣医師の仕事―私たちの暮らしとつながる動物たち―」というものでした。メインステージではそれぞれ職種の異なる７名の獣医師が対談する企画もありましたが、観客が少なめだったことが少し残念でした。また、会場にはたくさんのブース（テント）が設けられ、各地方獣医師会も展示を行っていました。家庭動物の適正飼養に関するパンフレットを配って啓蒙活動を行っているブースもありましたが、地元の畜産関連商品の配布・販売に力を入れているブースが多かったようです。イベントのコンセプトがもう少し徹底できれば、更に充実した展示になるのではないかと感じられました。

今年は天候に恵まれなかったにも拘わらず、多くの参加者があったことは我々にとっても大変心強いことです。来年以降も更に内容を充実され、継続してこの催しが行われることを期待します。実際、日本獣医師会がどのくらいの経費を使っているのか、気になるところではありますが。

最後に提案です。京都でも本会が主体となり、小規模ではあっても同様のイベントを開催できるよう、みなさんで本気になって取り組んでいきましょう！！



畜産振興と家畜衛生

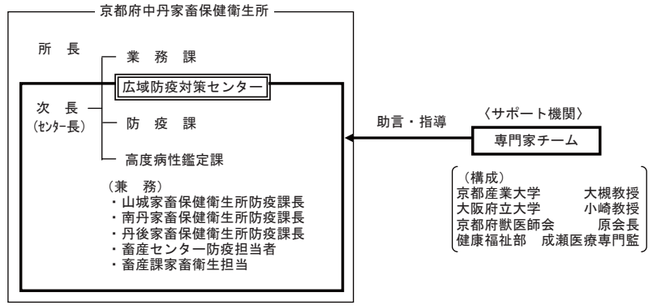
広域防疫対策センターの活動内容及び専門家チーム会議の開催

京都府農林水産部畜産課

京都府では、急性家畜伝染病に対し４つの家畜保健衛生所が一体となって機能する防疫体制を実効あるものにするため、中丹家畜保健衛生所内に「広域防疫対策センター」を設置し、防疫対策や防疫演習計画等を策定・実行しています。

また、「広域防疫対策センター」では、伝染病の専門家等で構成する専門家チーム会議から助言・指導をいただき、防疫対策に活かしています。

広域防疫対策センター図



1　平成21年度広域防疫対策センターのこれまでの活動内容

○　２回の広域防疫対策会議（５月８日、10月９日）を開催し、以下の取組を実施

・各家畜保健衛生所における病性鑑定事例の検討を通じて、診断方法、発生時の対応等について相互研鑽を行うため、病性鑑定協議会を開催（７月16日）

・家畜衛生に関する知識の普及

「知って安心！　家畜の病気」（山城家保：８月20日）

「南丹おいしい食の親子農業体験ツアー」（南丹家保：８月６日、21日）

「知って安心！　家畜の健康を守る家畜保健衛生所の役割」（中丹家保：８月６日）

高校生対象「畜産物が食卓に届くまで」出前授業（丹後家保：９月26日）

「知って得　とり・たまごの集い」（京都市内９月12日、福知山市内９月19日の２回開催）

・高病原性鳥インフルエンザ防疫演習（府域：10月９日）

・他府県家畜保健衛生所との連携強化を図るため府県境防疫会議を開催（８月21日）

2　第１回専門家チーム会議の開催

● 日　時　平成21年10月28日（水）午後１時15分から３時15分

● 場　所　京都府庁西別館大会議室Ｂ

● 内　容

協議

・平成21年度広域防疫対策センターの活動状況及び最近の家畜伝染病に関連する事例に対する京都府の対応について各委員から貴重な意見・助言をいただいた。

講演

・「新型インフルエンザ対策に関わる京都府の取組みについて」：成瀬委員

・「高病原性鳥インフルエンザに関する最新の知見」：大槻委員

国際獣疫事務局（ＯＩＥ）アジア・太平洋地域会議（京都会議）の開催について

京都府農林水産部畜産課

９月９日（水）に国際獣疫事務局（ＯＩＥ）アジア・太平洋地域会議（京都会議）が福知山市において開催され、アジア21カ国・地域の参加がありました。

会議では平成16年の高病原性鳥インフルエンザの発生時の対応について京都府の報告とディスカッションが行われ、その後、中丹家畜保健衛生所の施設見学が実施されました。

○　地域会議【福知山市サンプラザ万助】

Ｈ16年発生時の防疫対応等について家保職員がプレゼンテーション

ディスカッションでは、25万羽に及ぶ殺処分に要した人員及び日数、感染ルート、国のマニュアルと京都府の防疫対策要領の違いなど、具体的な質問が数多く出され、京都府、農林水産省、助言者の京都産業大学大槻教授から回答しました。

○　中丹家畜保健衛生所施設見学

焼却処理施設、病性鑑定検査機器等について視察

21カ国のＯＩＥ代表（中丹家保前）

平成２１年度高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

京都府農林水産部畜産課

渡り鳥が飛来し、高病原性鳥インフルエンザに対して最も警戒を必要とする時期を前にして、養鶏農家への注意喚起と啓発を図り、関係者が一丸となった発生予防対策の徹底並びに万一発生した際の初動防疫体制について再確認するとともに、本病に関する最新の知見を学ぶことを目的に、防疫演習を開催しました。

府域防疫演習

1　実施月日
平成21年10月20日（火）
午後２時から午後４時まで

2　開催場所
ガレリアかめおか（大広間）
京都府亀岡市余部町宝久保

3　内　　容
(1)　演　　習
「愛知県の高病原性鳥インフルエンザに対する防疫対応について」
愛知県東部家畜保健衛生所
課長補佐　上島　貴吉　氏
「広域防疫対策センターの取組について」
京都府中丹家畜保健衛生所
広域防疫対策センター
センター長　上村　浩一　氏

(2)　講 演 会
「高病原性鳥インフルエンザの最近の知見について」
講師：京都産業大学
鳥インフルエンザ研究センター
センター長　大槻　公一　教授

4　参集範囲
近畿農政局、近隣府県、養鶏農家、関係団体、市町村、保健所、広域振興局、農業改良普及センター、学校教育関係者、家畜保健衛生所、畜産センター、畜産課

地域防疫演習開催状況

	開催月日	開催場所	内　　容
山 城 地 域	１１月　５日	山城広域振興局	各地域での発生を想定し、初動防疫体制と関係機関や市町村の役割等を確認
南 丹 地 域	１１月２６日	南丹広域振興局	
中 丹 地 域	１１月２４日	京都府総合教育センター北部研修所	
丹 後 地 域	１２月　３日	丹後広域振興局	

最近の話題

強感染力、大流行恐れ　大槻所長 幅広い対応が必要　京都政経懇

新型インフルエンザの流行について話す京都産業大の大槻所長（京都市下京区・リーガロイヤルホテル）

京都政経文化懇話会は25日、８月例会を京都市下京区のホテルで開いた。京都産業大鳥インフルエンザ研究センターの大槻公一所長が「動物インフルエンザから新型インフルエンザへ」と題して講演し、「新型インフルエンザは今冬、大流行する恐れがあり、今のうちに抑え込む必要がある」と強調した。

大槻所長は「インフルエンザが冬に流行するのは、人間の免疫が寒さで弱くなっているからだ。免疫が強いはずの夏場に流行した今回の新型インフルは感染力が強く、弱毒と言い切れるものではない」と警告した。

また、「東南アジアでは鳥インフルと新型の双方が流行しており、ブタの体内で両者が遺伝子交雑を起こし、強毒性の新型が出現する恐れがある」とも指摘した。「国の行動計画が想定している、強毒性鳥インフルエンザが突然変異を起こして人で流行する可能性はむしろ低く、（強毒性鳥インフルエンザを想定した）備蓄ワクチンやタミフルが効かない菌が出現する恐れもある」と指摘し、幅広い対応策の必要性を訴えた。【佐分利恒夫】　（京都新聞　09.8.26(水)）

「知って得、とり・たまごの集い」の開催

京都府農林水産部畜産課

～京都府産たまご・鶏肉　しっかり食べてみんなニコニコ～
＜高病原性鳥インフルエンザに対する正しい知識の普及・啓発＞

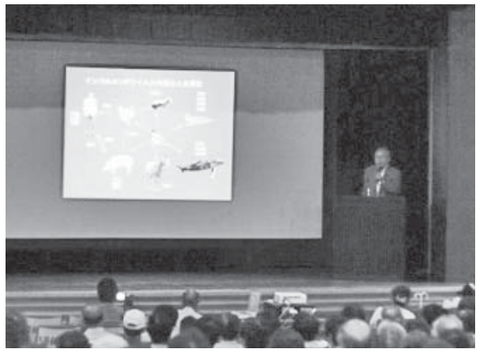
今年度は、府北部においても初めて開催し、多くの府民の方々の参加をいただきました。

1　日時・場所
(1)　平成21年９月12日(土)午後２時から４時まで
京都商工会議所
(2)　平成21年９月19日(土)午後２時から４時まで
福知山市民センター

2　参　加　者　府民約400名（京都会場：300名、福知山会場：100名）

3　テ ー マ　鳥インフルエンザや卵・鶏肉についての疑問を解消

4　概　　要
◆講　演「鳥インフルエンザってどういう病気」
鳥インフルエンザウイルスって何だろう
～流行の始まった
新型インフルエンザ対策のために
講　師　京都産業大学
鳥インフルエンザ研究センター
センター長　大槻　公一　教授


大槻教授の講演風景

【講演要旨】
○　インフルエンザウイルスについて
・　インフルエンザウイルスの表面にはスパイクという棘状のものが２種類（ＨＡとＮＡ）あり、ＨＡはどういう動物（人、鶏、豚など）に感染するか、どの程度強い病気を起こすのか（病原性）に関係し、ＮＡは、動物体内でのウイルスの増殖に関係している。
○　鳥インフルエンザウイルスについて
・　インフルエンザウイルスの祖先は全て鳥インフルエンザウイルス。水鳥、主としてカモの仲間が数百万年にわたって鳥インフルエンザウイルスに感染してきた動物であると考えられている。
・　カモからたまたま鶏にウイルスが感染し、鶏から鶏へ感染を続けていく間に、鶏をバタバタと殺すような強毒のウイルスに変わっていくものが出現し、これが問題になっている高病原性鳥インフルエンザウイルスＨ５Ｎ１というウイルス。
・　人の呼吸器は鳥インフルエンザウイルスが付着できる構造になっていない。そのため、鳥インフルエンザウイスルはそう簡単には人には感染しないが、ごくまれに東南アジアや中国などでは高病原性鳥インフルエンザＨ５Ｎ１の人への感染が起きている。日本では、鶏での高病原性鳥インフルエンザはまれに発生が起きているが、感染者は出ていない。
・　もし、京都で再び鳥インフルエンザの発生があった場合でも、京都のマーケット等で販売されている鶏卵あるいは鶏肉に鳥インフルエンザウイルスが汚染している危険性はまったくありませんし、また、実験的に鳥インフルエンザに感染させた鶏の卵からウイルスが検出されたことはありません。ですから、人へ感染することはありません。
○　新型ンフルエンザについて
・　これまで新型インフルエンザウイルスが出現するときには、必ず鳥インフルエンザウイルスが重要な役割を果たしており、世界ではＨ５Ｎ１ウイルスが新型インフルエンザウイルスにな

るのではないかと考えられ、それはそれで間違いではないが、今そういうことは起きていない。

・　今回の新型インフルエンザウイルスの遺伝子は豚インフルエンザウイルスの遺伝子が主体で、ヒトの香港型インフルエンザウイルス、鳥インフルエンザウイルスの遺伝子も入った複数の遺伝子で構成されている。

・　従来、豚インフルエンザウイルスは豚にとっては大した病気ではなく、人にも感染するが、人に対しても大した病気ではない。今回の新型インフルエンザウイルスは、人に対する病原性と人から人への感染力が非常に強く、従来の豚インフルエンザウイルスにはない新しい性質を持っている。

・　今回の新型インフルエンザウイルスは軽視することはできない。この先、次第に寒くなり、人はインフルエンザに感染しやすい体のコンディションになるため、寒くならない今の内にしっかり衛生対策を講じておくことが重要。

◆　**家畜保健衛生所が取組む鳥インフルエンザ対策**　（福知山開催）

◇　中丹家畜保健衛生所

・　家畜保健衛生所の普段の仕事と予防対策について担当職員から分かりやすく説明

説明に聞き入る参加者

◆　**安心・安全なたまご、鶏肉を届けるためがんばっています**

◇　株式会社共立　専務取締役　堀江　均　氏（京都開催）

◇　三栄ブロイラー販売株式会社
取締役工場長　北村　亨　氏（福知山開催）

・　出荷されてから食鳥処理場で検査を受け製品になるまでの工程をビデオで紹介。

◇　有限会社中丹ファーム
場長　徳尾　竜一　氏

・　鶏舎で卵が産まれてからＧＰセンター（グレーディング・アンド・パッキングセンター：鶏卵の格付（選別）包装施設）でパックされるまでの工程をビデオで紹介。

◆　**たまご、鶏肉クイズ**（○×で回答）

・　全問正解された方には、すてきな景品がプレゼントされました。

問題例

☆　たまごのパックに書かれている「賞味期限」の意味は、「賞味期限を過ぎたら食べないでください。」という意味。

答･･･×
たまごの「賞味期限」は安心して「生食」できる期限を表示したものです。「賞味期限」を過ぎたら、加熱調理をして食べてください。

◆　**たまご（ピンポン玉）つかみゲーム**

・　当たりのたまごをつかんだお子さまには、おいしいケーキがプレゼントされました。

◎　**参加者の声**

・　楽しみながら勉強できてよかった。ビデオを見て、そのすごさにびっくりした。

・　たまごを消毒しているとは思っていなかった。大変感銘を受け、生産者の努力に感謝し、安心していただこうと思います。

・　鳥インフルエンザが発生したときも不安なく食することができます。ありがとうございました。

・　知って 得しました。

・　このような催しを今後も開いていただき、食に関する疑問を解決して下さい。

◎　**アンケート結果**（回答数208：京都開催分）

・　「集い」に参加された府民の皆様の内、102名の方が国内で鳥インフルエンザが発生した場合、「たまご」や「鶏肉」を食べるのを控えようと考えておられましたが、「集い」に参加された後は、102名のうち74名（72.5％）の方が鳥インフルエンザが発生しても「たまご」や「鶏肉」を食べても大丈夫であることを理解していただきました。

○×札で回答

・　198名（95％）の方から、「鳥インフルエンザ」や「たまご、鶏肉」についての日頃の疑問が、「集い」に参加して「解決できた」「ほぼできた」と回答を頂きました。

平成21年度秋期全国鶏病技術研修会－京都府で開催－

京都府農林水産部畜産課

平成21年10月16日（金）に京都市中京区のウイングス京都において、平成21年度秋期全国鶏病技術研修会が**鶏病研究会**（昭和40年農林省の指導のもと家畜保健衛生所、食鳥検査員、飼料、薬品関係職員、開業獣医師等で組織された全国組織）の主催（京都府共催）で開催されました。この研修会は毎年秋に鶏病研究会の道府県支部が担当し開催するもので、今回は京都支部が開催を担当しました。

当日は全国から家畜防疫の第一線で活躍する会員、鶏病研究者など**232名**が参加し、「鳥インフルエンザの疫学と対策」をテーマに講演と総合討議が行われ、熱心な質疑応答が繰り広げられました。

演題は以下のとおりです。

1　京都府における高原性鳥インフルエンザ発生時に埋却した処分鶏等の最終処理
寺石　武史（京都府南丹家畜保健衛生所）

2　“鳥インフルエンザ”（届出伝染病）の防疫対策
種市　　淳（山形県庄内家畜保健衛生所）

3　アジアの鳥インフルエンザ発生状況
大槻　公一（京都産業大）

4　愛知県におけるウズラの高病原性鳥インフルエンザの発生と対応
伊藤　裕和（愛知県農業総合試験場）

5　2009年に愛知県でウズラから分離されたH7N6亜型高病原性鳥インフルエンザウイルスの解析
西藤　岳彦（動物衛生研究所）

寺石先生の講演

熱心に質疑応答

乳牛（14歳）が生涯生産乳量10万キログラムを達成

京都府南丹家畜保健衛生所

南丹市日吉町、谷口牧場の「ラーンデール・ジャスティン・アンナ号」の生涯生産乳量が10万kgを突破しました。

京都府内の牛群検定成績では初めての記録となる快挙を達成した谷口学さん（52歳）から、お話をお聞きしました。

「アンナ号は乳房の付着と肢蹄が非常に良い。まずは、そこを見ていただきたい。」と自信を持って谷口学さんは話されます。

その言葉どおり、アンナ号は1995年９月生まれの14歳、谷口牧場の「エース」の系統で、体格審査で最高の称号であるエクセレントの評価を受けています。

「体型を改良すると、（泌乳）能力は後からついてくる。」との谷口さんの持論どおり、アンナ号は体型と生産性を兼ね備えた上、２歳で初産を迎えてから12年間で11頭を分娩するなど高い繁殖能力もあって、10万kgの大台を達成しました。

谷口さんは、21年前お父さんから10頭規模の牧場を継がれ、現在では45頭規模の経営をされています。

牧場を継ぐ前の４年半、北海道とカナダで酪農を勉強する中で現在のスタイルを確立され、生涯生産乳量に着目して「平均５産で、生産乳量５万kg」を目標として、積極的に乳牛の改良に取り組んでおられます。このような牛を大切に育てる経営スタイルが今回の記録達成に繋がったと感じました。

アンナ号は今でも元気に牛乳を出し続けており、「まずは、（北海道を除く）府県の最高記録である16万キロを目指したい。」と谷口さんは語っています。

今後のアンナ号の活躍に期待したいと思います。

（文責：杉浦伸明）

杉本好美さん京都府あけぼの賞を受賞

京都府中丹家畜保健衛生所

“ハッスル母ちゃんの会”でお馴染みの肉用繁殖牛農家の杉本好美（よしみ）さんが10月、栄えある京都府あけぼの賞を受賞されました。京都府あけぼの賞は、男女共同参画社会の創造に向けて、各分野で先駆的な活躍が著しい女性やグループを顕彰するもので、平成元年度の創設以降、昨年度までに96名９グループ１夫妻が受賞されています。

杉本さんは、夫の賢（ただよし）さんとともに昭和56年から綾部市故屋岡町で繁殖牛経営を始められました。現在は母牛28頭を飼養されていますが、14ha（受託分を含む）の水稲から得られた稲わらで、自給率の高い経営を実践されています。平成11年度からは足腰の強い母牛づくりとともに、牧場前の府道を行き交う人たちに牛への親しみを持ってもらうために、いち早く繁殖牛の水田放牧に取り組んでこられました。また、今年度からは地元の住民達と坂本営農組合を立ち上げ、故屋岡地区の耕作放棄地でのサポートカウ事業に積極的に参加されるなど、地域活性化や農業の振興に尽力されています。

こうした農業経営に加えて、京都府家畜改良増殖審議会をはじめ各種審議会の委員や、地元では消費者との交流、研修生や学生の受け入れなどにも積極的に取り組まれており、正にこの賞の趣旨にふさわしいご活躍をされています。

今回の受賞にあたり、杉本さんは「特別に何かを意識してということはありませんが、日頃の活動をそのまま評価いただいたのでは・・」と控えめですが、今後も女性ならではの視点を残しつつ、地域農業の推進役としてご主人とともに歩まれるものと期待しています。

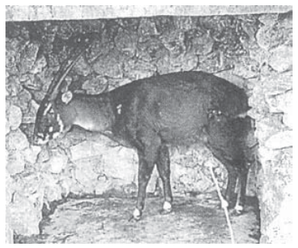
あけぼの賞受賞（21.10.18 京都テルサ）

杉本さんの牛を活用したサポートカウの放牧

（文責：西野　洋）

最近の話題

猟で脅かされるサオラ



1996年にラオスで捕獲されたメスのサオラ。捕獲後、数週間で死んだ（W.ロビチャウド氏、野生生物保全協会提供）

ウシ科のレイヨウのような長い角を持つ「サオラ」というこの動物は、わずか17年前の1992年に存在が確認され、世界を驚かせた。国際自然保護連合（ＩＵＣＮ）によると、ラオスとベトナム国境付近の山岳地帯に生息。レイヨウより野生のウシに近いという。

発見当時、既に生息数は少なかったとみられ、ＩＵＣＮは「ごく近い将来に野生で絶滅する恐れが極めて高い」種に分類。このほどＩＵＣＮの専門家などがラオスで保全のための会合を開いた。

生息数は現在、数十頭から多くても200～300頭程度で、92年以降も狩猟の影響で数が減っているとみられる。動物園での飼育個体はなく、ＩＵＣＮは「野生での絶滅は、地球上での絶滅を意味する」と指摘、生息域でのわなの撤去や、猟の制限が必要だと訴えている。

（京都新聞　09.11.29(日)）

公衆衛生と動物愛護

平成21年度動物愛護管理関係表彰式

京都府健康福祉部生活衛生課

日　時：平成21年10月28日(水)午後１時～１時30分
場　所：ルビノ京都堀川　加茂の間

動物の適正飼養と愛護について、広く府民の関心と理解を深めることを目的に、動物愛護週間（９月20日～26日）の関連事業として、京都府主催で上記の表彰式を開催しました。

来賓として、市長会、町村会、社団法人京都府獣医師会、京都府動物愛護推進協議会、犬の適正飼養推進協議会（乙訓、亀岡地区、中丹、丹後）の代表者等にご出席いただきました。

開会に当たり、京都府知事の代理として浅田健康福祉部長から挨拶し、京都府獣医師会長の代理として清水副会長さんから来賓挨拶をいただきました。

表彰式又は委嘱式は３部に分けて行われ、次のとおり表彰、委嘱が行なわれました。

①　動物愛護写真コンクール入賞者表彰式

10月９日（金）に開催されたコンクール審査会で決定された作品、特選１点、一席（２点）、二席（３点）、入賞10点に賞状が授与されました。入選作品は、動物との愛情交流があふれた作品であることが条件となっており、今年度は応募点数も多く、73点の中から選出されました。

②　動物適正飼養推進事業の功労者表彰式

受賞者は動物適正飼養推進事業のために、献身的かつ功績が顕著の者となっており、次の方々が受賞されました。

狂犬病予防の部　奥雲　　誠　氏（京田辺市）
適正飼養・愛護の部
浅野　義則　氏（福知山市）

③　京都府動物愛護推進員委嘱式

対象者は、府内に居住する20歳以上の者で、適正飼養と愛護に熱意と識見を有しており、人と動物の共生する社会作りを推進するための活動を行う者となっています。

今年度は、岩永　健氏（京田辺市）と助川　剛氏（宇治市）に委嘱させていただきました。

狂犬病予防注射済票が変わります！！

京都府健康福祉部生活衛生課

注射済票について定めた狂犬病予防法施行規則の付則（平成19年３月２日厚生労働省令第17号）による経過措置が、平成22年３月31日をもって満了することになっています。

ついては、これまで都道府県単位で発行されていた狂犬病予防注射済票を市町村単位で発行していくことが必要であるため、市長会や町村会とも諮り、狂犬病予防業務検討委員会を立ち上げ、対応を協議しました。検討委員会の構成は、市長会と町村会の代表各２名（それぞれ南北の担当課長）と京都府獣医師会２名、京都府（生活衛生課、南北の保健所各１名）計９名で２回の検討会を開催しました。

狂犬病予防法施行規則の改定で求められる「犬の鑑札」と「狂犬病予防注射済票」の条件は要約すると、下の表１のとおりです。

表１　狂犬病予防法施行規則改定による鑑札及び済票の要件

	鑑　　札	済　　票
文　　字	犬　鑑　札	注　射　済
番　　号	登 録 番 号	注射実施年度
都　道　府　県　名	府県名又は府県が特定できるもの	府県名又は府県が特定できるもの
市　町　村　名	市町村の名称が特定できる文字数字	市町村の名称が特定できる文字数字
文 字 の ポ イ ン ト	１２	８
大　き　さ（上段か下段のいずれか）	短径：15㎜以上 短径：長径＝５：７ 楕円形	直経：10㎜以上 円形
	短径：15㎜以上 短径：長径＝３：４ 方形	短辺：10㎜以上 短辺：長辺＝１：２ 長方形
そ　の　他		青→黄→赤

表２　京都府狂犬病予防業務検討委員会による統一の様式

	鑑　　札	済　　票
年　　度	無	有
文 字 の 大 き さ	犬鑑札 12.5ポイント	狂犬病予防注射済 ８ポイント
材　　質	ステンレス	アルミ
サ　イ　ズ	15×30	15×30
デ　ザ　イ　ン		
そ　の　他		H22黄→H23赤→H24青

検討の中で、他の府県や政令指定都市では、県や市長を数字や徽章等で表現する所や特徴的なデザインにする所もありましたが、
京都府では、従来どおり
「　①　府内の25市町村（京都市を除く）が統一して、同じ形の鑑札、狂犬病予防注射済票とすること。
②　京都府獣医師会に取りまとめてもらい、市町村名だけ変えて、一括発注をお願いすること。」
になりました。

検討委員会により定められた様式は、表２のとおりです。

この内容は、平成21年10月28日(水)にルビノ京都堀川において開催しました市長村狂犬病予防担当課長会議において報告され、承認をいただきました。

市町村狂犬病予防担当課長会議

日　時：平成21年10月28日(水)
午後１時45分～3時15分
場　所：ルビノ京都堀川
概　要

【説明事項】

・狂犬病予防注射接種率の向上には、「犬の登録台帳の点検整理」及び「集合率向上に向けた取り組み」が重要である。

【主な意見】

・市町村と獣医師の連携強化により、情報を共有できるようにしていくことが重要である。
・注射済票に市町村名が入ることになったことから、個別注射分について
これまでの獣医師会から配布していた方法から、市町村が直接、関係の獣医師に配布するように変更してはどうか。　　（文責：森岡三清）

追記　　京都府獣医師会事務局より

狂犬病予防注射済票の発行事務は、本会としても重要な事務であり小動物委員会および狂犬病予防委員会を再々開催して検討いただき、京都府の検討委員会への意見反映に努めていただきました。

また、市町村狂犬病予防担当課長会議の結果を受

けて、平成21年11月25日（水）小動物委員会および狂犬病予防委員会・ブロック長・連絡員合同会議を開催して、その内容を報告し、協議していただきました。済票については本会で府内の25市町村分を取りまとめて、発注の手配をすること、その管理・配布については市町村の責任において行っていただくことと決定されました。

京都府動物愛護管理センター献花式

京都府動物愛護管理センター

平成21年11月12日（木）午後、秋色深まりゆく洛西の地、京都府動物愛護管理センターにおいて、京都府主催による「平成21年度犬及びねこの献花式」が厳かに開催されました。

社団法人京都府獣医師会から、原哲男会長、犬の適正飼養推進乙訓地域連絡協議会　西谷宏一会長、山城北犬の適正飼養推進連絡協議会　森田豊会長、動物愛護推進亀岡地区協議会　井上量会長のほか、日頃、動物愛護管理行政に携わる府内市町村及び府保健所担当者など約50名が参列しました。

動物愛護管理センター神村孝所長の挨拶に続き、参列者全員が獣魂碑の下に眠る多くの犬・ねこの霊魂に黙とうを捧げ、京都府健康福祉部中村実副部長が京都府知事の慰霊の言葉を代読されたあと、参列者全員が獣魂碑の前に、菊花を一輪ずつ献花し、犬・ねこの安らかな眠りを祈りました。

センターに搬入される犬・ねこについては、着実に減少しており、平成20年度で犬が419頭、ねこが

2,857頭で、犬では、当センターが整備された昭和63年度の約1/17に、また、ねこでは、最も搬入頭数の多かった平成４年度の約1/4まで減少しています。

これは、関係者の努力によって、犬・ねこの終生飼育及び命を尊重する思想が府民に普及してきた結果と考えられますが、搬入される頭数はまだまだ多いことから、「命を尊重する思想」の啓発及び不妊手術の普及に一層努めることが必要だと考えます。

（文責：神村　孝）

最近の話題

広がれ「地域ネコ」

秋の気配が感じられるようになったある日のこと。我が家の猫が熱心に戸口を見つめている。一体何ごとかと、戸を開けてびっくり仰天。何と５匹の子猫を連れた母猫が、困り果てた風情で座っていた。

うちひしがれた面ざしに心打たれ、しばし立ちつくしてしまった。何とか１匹でも幸せになってほしいと願い、さっそく里親探しのチラシを娘と作った。方々を回って掲示のご協力も得た。だが現実は大変に厳しく、一時的に我が家で保護することにした。

まるでボロぞうきんのような体で我が子を必死に守る母猫。か細い体で無邪気に庭を歩き回る子猫たち。その姿を見ていて「地域ネコ」の取り組みを思い出した。増加をたどる野良猫の処遇に困った住民が行政と議論を重ね、避妊と去勢をしたうえで、一代限りの「地域ネコ」として認め、共存する道を選ぶ話だったと記憶している。

地域性の違いや各人の思いは多様であるから、「地域ネコ」の実践は非常に難しいことではある。だが、人も動物も「命こそ宝」との風潮を育てることができれば、命を落とす動物たちを確実に減らし、私たちの生活にも潤いを与えてくれるのではないか。

殺伐とした時代だからこそ、「地域ネコ」のような試みが理解を得て広がることを心から願っている。

【大阪府大東市　大川美登里　主婦　60歳】（朝日新聞　09.10.9㈮）

食鳥検査実施表（月別一覧）

平成21年4月～11月
京都府獣医師会

◆　中丹食鳥検査室

項目／月	検査羽数 成鶏	検査羽数 ブロイラー	検査羽数 合計	合格羽数	合格羽数 一部廃棄	不合格羽数（廃棄羽数）	不合格羽数（廃棄羽数） 解体禁止	不合格羽数（廃棄羽数） 全部廃棄	検査日数
4月		234,088	234,088	229,156	5,533	4,932	3,353	1,579	21
5月		240,086	240,086	232,338	3,765	7,748	6,063	1,685	22
6月		234,454	234,454	230,011	3,835	4,443	3,291	1,152	22
7月		216,893	216,893	213,366	2,582	3,527	2,729	798	22
8月		229,489	229,489	225,277	2,631	4,212	3,397	815	22
9月		222,588	222,588	219,900	2,969	2,688	1,739	949	21
10月		271,722	271,722	267,358	2,505	4,364	3,319	1,045	23
11月		252,949	252,949	248,385	4,153	4,564	3,352	1,212	21
12月									
1月									
2月									
3月									
計	0	1,902,269	1,902,269	1,865,791	27,973	36,478	27,243	9,235	174

◆　共立食鳥検査室

項目／月	検査羽数 成鶏	検査羽数 ブロイラー	検査羽数 合計	合格羽数	合格羽数 一部廃棄	不合格羽数（廃棄羽数）	不合格羽数（廃棄羽数） 解体禁止	不合格羽数（廃棄羽数） 全部廃棄	検査日数
4月	1,797	65,361	67,158	66,566	4,807	592	247	345	21
5月	2,179	69,979	72,158	71,133	5,445	1,025	613	412	22
6月	742	67,147	67,889	67,275	4,147	614	304	310	22
7月	908	64,936	65,844	65,419	4,272	425	198	227	22
8月	885	65,074	65,959	65,591	4,191	368	226	142	22
9月	1,127	62,590	63,717	63,262	4,162	455	277	178	21
10月	1,260	68,644	69,904	69,277	4,817	627	402	225	23
11月	867	70,967	71,834	71,199	4,495	635	365	270	22
12月									
1月									
2月									
3月									
計	9,765	534,698	544,463	539,722	36,336	4,741	2,632	2,109	175

◆　合　計

項目／月	検査羽数 成鶏	検査羽数 ブロイラー	検査羽数 合計	合格羽数	合格羽数 一部廃棄	不合格羽数（廃棄羽数）	不合格羽数（廃棄羽数） 解体禁止	不合格羽数（廃棄羽数） 全部廃棄	検査日数
4月	1,797	299,449	301,246	295,722	10,340	5,524	3,600	1,924	42
5月	2,179	310,065	312,244	303,471	9,210	8,773	6,676	2,097	44
6月	742	301,601	302,343	297,286	7,982	5,057	3,595	1,462	44
7月	908	281,829	282,737	278,785	6,854	3,952	2,927	1,025	44
8月	885	294,563	295,448	290,868	6,822	4,580	3,623	957	44
9月	1,127	285,178	286,305	283,162	7,131	3,143	2,016	1,127	42
10月	1,260	340,366	341,626	336,635	7,322	4,991	3,721	1,270	46
11月	867	323,916	324,783	319,584	8,648	5,199	3,717	1,482	43
12月									
1月									
2月									
3月									
計	9,765	2,436,967	2,446,732	2,405,513	64,309	41,219	29,875	11,344	349

註）不合格羽数とは、解体禁止、全部廃棄、一部廃棄の合計羽数

小動物診療と動物福祉

小動物よもやま話ⅩⅧ　～ビーグル

京都支部　市川　孝昭

人気キャラクター「スヌーピー」のモデルにもなったビーグル。私が人生で初めて生活を共にしたイヌがビーグルということで、今回はこの犬種のことと、私事ではございますが彼との思い出について書きたいと思います。

ビーグルは紀元前からウサギ狩りに使われていたサザン・ハウンドの子孫と考えられており、その名の由来は、16～17 世紀初頭、イギリスには大小２種類のハウンドがいましたが、小さい方をフランス語で「小さい」を意味する「ビーグル」が訛ったものなど諸説あり、野ウサギ猟に使われてきました。

外見上の特徴は、筋肉は引き締まり、バランスのとれた体型。頭は幅広く、ドーム状に盛り上がっており、長く大きな垂れ耳とピンとたったほどよい長さの尾を持っています。つやのある硬い短毛で、毛色はブラック、タン、ホワイトからなるハウンド・カラーが多く、尾の先はホワイト。

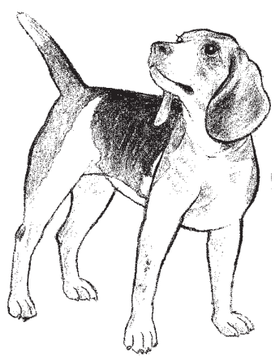
明るく活発で人なつこい性格をしています。穏やかで素直ですが、強い責任感を具え持っています。フレンドリーで甘えん坊ですがとても賢く、訓練にもよく応えてくれます。

この犬によく認められる疾患は、白内障や緑内障、進行性網膜萎縮などの眼疾患、その他椎間板ヘルニアやてんかん、アトピー性皮膚炎などにも注意が必要です。

彼との出会いは突然で、とある休日、父と妹たちが生後数カ月の彼を連れて帰ってきました。以前からイヌを飼う約束をしていたようで、私は全く知らされてないことでした。

家に来てすぐ、嘔吐、下痢が止まらず近くの動物病院へ。今思えばパルボウイルスに感染していたのではないかと思うのですが、彼を診察してくれた先生は幾度も往診に来てくださいました。家で私たちができることといえば、傍について見守っていたり、寝床をきれいにしたりと限られたことでした。幸い彼は体調を回復し、ぐんぐん成長して約15kgの立派なビーグルへと成長しました。この時、「自分にも動物を治療することができれば」との思いが芽生え、私を獣医師へと導きました。

言葉でコミュニケーションを取れない動物が病に侵されたとき、家族の一員として共に暮らしている飼い主は、不安な気持ちで病院に来られると思います。動物の病気を治すことはもちろん大事ですが、飼い主の不安を少しでも解消できるような獣医師を目標として日々努力して参りたいと思います。



事務局日誌

事務局主要処理事項

（平成21年８月～12月）

年　月　日	主　要　処　理　事　項	場　所
８月２日（日）	小動物部会役員会	京都獣医畜産会館
５日（水）	碇牧場業績発表会　吉岡理事	畜技セ碇高原牧場
７日（金）	第２回理事会	京都獣医畜産会館
９日（日）	近畿地区連合獣医師会長会議　原会長	ホテルグランヴィア和歌山
18日（火）	京都府獣医師会部会長会議	京都獣医畜産会館
26日（水）	府衛生指導協会会議　藤原局長	〃
27日（木）	ペットフード安全法会議　岡井理事、藤原局長	大阪市
９月２日（水）	新公益法人制度検討委員会	京都獣医畜産会館
５日（土）	公衆衛生部会総会　原会長	京都府庁
６日（日）	小動物部会役員会	京都獣医畜産会館
18日（金）	狂犬病検討委員会　若松副会長、西谷委員	府庁
27日（日）	第87回近畿地区連合獣医師大会　原会長他	和歌山市
29日（火）	第２回倫理委員会	京都獣医畜産会館
10月２日（金）	全国獣医師会会長会議　原会長	東京都（明治記念館）
３日（土）	2009動物感謝デー in Japan　原会長、安田理事	〃（駒沢オリンピック公園）
４日（日）	小動物部会役員会	京都獣医畜産会館
７日（水）	平成21年度獣魂法要慰霊祭　原会長	京都市卸売市場第二市場
９日（金）	府動物愛護写真コンクール審査会　原会長	京都府庁
15日（木）	平成21年度全国食鳥指定検査機関情報連絡会議　若松副会長、大槻、安村検査員	岡山市
16日（金）	小動物委員会・狂犬病予防小委員会	京都獣医畜産会館
18日（日）	近畿地区三学会	大阪府立大学りんくう学舎
20日（火）	高病原性インフルエンザ防疫演習　原会長	ガレリア亀岡
21日（水）	相楽犬猫慰霊祭　松原理事	蟹満寺
22日（木）	インフルエンザ防疫会議　府衛指協	京都獣医畜産会館
24日（土）～25日（日）	「福知山産業フエア」へ出展参加　会員多数	福知山市（三段池総合体育館）
26日（月）	第2回広報委員会	京都獣医畜産会館
28日（水）	動物愛護管理関係表彰式　清水副会長他	ルビノ京都堀川
	狂犬病予防市町村担当課長会議　清水副会長他	〃
	“人と動物の共通感染症”講演会　若松副会長他	〃

年　月　日	主　要　処　理　事　項	場　　所
11月１日(日)	広域防疫対策センター専門家チーム会議　原会長	府庁西別館
	南丹支部研修会	南丹市(玉川楼)
	総合部会研修会	木津川市
４日(水)	小動物部会役員会	京都獣医畜産会館
	公益法人制度に係る個別相談 原会長、岡井部会長、田中顧問税理士、比留木事務局長	府庁政策法務課
５日(木)	山城地域高病原性鳥インフルエンザ防疫演習　松原理事	府山城広域振興局
８日(日)	小動物部会第２回学術講習会	京都獣医畜産会館
	中丹支部研修会	滋賀県
12日(木)	平成21年度犬及び猫の献花式　原会長	府動物管理センター
13日(金)	食鳥検査近畿ブロック会議　若松副会長、比留木事務局長	ホテルグランヴィア和歌山
15日(日)	精華祭犬猫健康相談	けいなんな記念公園
18日(水)	会務打合せ　原会長、清水副会長、岡井部会長、比留木事務局長	府中丹家畜保健衛生所
20日(金)	平成21年度長寿犬飼養者表彰式　若松副会長	府乙訓保健所
25日(水)	小動物委員会･狂犬病予防委員会･ブロック長･連絡員合同会議	京都獣医畜産会館
26日(木)	京都市獣と打合せ　原会長・岡井部会長・比留木事務局長	〃
28日(土)	京都府農林水産フェスティバル表彰式　比留木事務局長	京都府総合見本市会館
29日(日)	山城支部研修会（上村淳之画伯アトリエ、野鳥園、他）	奈良市
30日(月)	府議会議員林田洋氏議長就任祝賀会　若松副会長	グランヴィア京都
12月３日(木)	丹後地域高病原性鳥インフルエンザ防疫演習　比留木事務局長	府峰山総合庁舎
４日(金)	マイクロチップ普及事業打合せ 原会長、安田理事、井上監事、比留木事務局長	京都獣医畜産会館
６日(日)	産業動物部会研修会	亀岡市（楽々荘）
７日(月)	市町村会マイクロチップ普及事業協力要請等 原会長、岡井部会長、比留木事務局長	府庁西別館
８日(火)	馬の防疫研修会　比留木事務局長	京都獣医畜産会館
９日(水)	近畿地区連合獣医師会役員及び事務担当者合同会議 原会長、比留木事務局長、田中主事	ホテルグランヴィア和歌山
10日(木)	公益法人説明会　比留木事務局長　田中主事	府福利厚生センター
11日(金)	生産衛生技術向上研修会　比留木事務局長	平安会館
17日(木)	小動物獣医療対策特別委員会	京都獣医畜産会館
18日(金)	総務委員会	〃
19日(土)	京都支部研修会	京都市動物園
21日(月)	平成21年度第２回理事、監事、支部長、部会長合同会議	京都獣医畜産会館

役員会、委員会等の開催概要

（平成21年８月～11月）

会議の名称	期　日	場　所	協議等の内容
第２回理事会	21. 8. 7	京都獣医畜産会館	新公益法人制度移行の取組について他
京都府獣医師会部会長会議	21. 8.18	〃	事業推進について
新公益法人制度検討委員会	21. 9. 2	〃	当面する課題及び今後の課題推進方策について
狂犬病予防業務検討委員会	21. 9.18	京都府庁	済票等の様式変更について
倫理委員会	21. 9.29	京都獣医畜産会館	獣医療法の適正化への対処について
小動物委員会及び狂犬病予防委員会	21.10.16	〃	・個体識別マイクロチップ普及事業 ・狂犬病予防注射済票等の様式変更について ・狂犬病予防注射関連規約等の一部改正について
第２回広報委員会	21.10.26	〃	紫友110号編集について
市町村狂犬病予防担当課長会議	21.10.28	ルビノ京都堀川	狂犬病予防対策の取組み等について
小動物委員会及び狂犬病予防委員会・ブロック長・連絡員合同会議	21.11.25	京都獣医畜産会館	・平成22年度狂犬病予防注射事業（集合及び個別）の対応について ・狂犬病予防注射事業関係規程及び要領の一部改正等について

今後の事業計画と行事予定

（平成22年１月～３月）

事　業　名	予定期日	場　所	備　考
第３回広報委員会	１月13日	京都獣医畜産会館	
小動物・狂犬病予防委員会	１月中旬	〃	
食鶏肉衛生技術研修会・研究発表	１月25～26日	東京都星陵会館	
日本獣医師会学会年次大会（宮崎）	１月29～31日	宮崎市ワールドコンベンションセンターサミット	
マイクロチップ普及事業に係る府内の警察署及び市町村への協力要請	１月下旬		
食鳥検査研修会、運営委員会	２月下旬	福知山市	
近畿地区連合獣医師会総会	３月５日	和歌山市	
平成22年度狂犬病集合注射説明会	３月14日	京都獣医畜産会館	

支部だより

山城支部

○　平成21年度第２回支部役員会

日　時　９月18日（金）午後２時～３時

場　所　山城家畜保健衛生所会議室

出 席 者　原支部長他６名

協議内容

(1)　視察研修会について

(2)　近連大会、三学会補助金額等について

○　支部会員の異動

◇　退　会

氏　名	勤　務　先	退 会 日
佐々木　崇	㈱微生物化学研究所	H21. 7.29
佐藤　明宏	林屋動物診療室　桃山	H21. 8.14
大川美奈子	㈱微生物化学研究所	H21. 8.16

○　犬・猫慰霊祭（蟹満寺）

相楽犬の適正飼養推進協議会

平成21年10月21日、京都府木津川市山城町にある蟹満寺において慰霊祭を開催しました。

この慰霊祭は、毎年開催しており、不幸にして生涯を全うできなかった犬や猫の冥福を祈るべく行っているものです。

暖かな秋晴れの日で、開業獣医師、府、市町村関係者ら24名が出席し、厳かに執り行われました。

日　時　平成21年10月21日（水）

午後２時30分から午後３時30分

場　所　蟹満寺

（京都府木津川市山城町綺田浜36）

次　第

あいさつ（副会長　前田部長（精華町））

慰霊の辞（会　長　土屋眞喜）

読経・焼香

閉会の辞

＜参考：山城広域振興局管内における犬猫の引き取り頭数＞

		乙訓保健所	山城北保健所	山城南保健所	合　計
平成元年度	犬	184	1,460	877	2,521
	猫	895	2,514	998	4,407
平成19年度	犬	51	97	94	242
	猫	122	558	252	932
平成20年度	犬	7	90	34	131
	猫	134	604	212	950

○　精華祭で動物愛護事業を実施

相楽犬の適正飼養推進協議会

11月15日（日）精華町のけいはんな記念公園で開催された「せいか祭り2009」に、動物愛護や狂犬病予防に関する普及啓発事業を実施しました。

寒空ではありましたが、非常に多くの来場者があり、動物の無料健康相談では次から次へと相談者がみえ、せっかくだからとあれもこれもと多くの相談を投げかける場面もありました。

また、獣医師会からお借りした「犬の系統図」前では、自分の飼い犬への繋がりを熱心に確認する姿も･･･

休日にもかかわらず参加いただいた先生方、ご苦労様でした。

◆　動物愛護普及啓発事業＜せいか祭り2009＞

１　日　時　平成21年11月15日（日）９時～16時

２　場　所　精華町　けいはんな記念公園

３　来場者　約32,000人

４　内　容

(1)　動物の無料健康・しつけ相談

（９時30分～15時30分）

・相談獣医師　土屋、兼光、加伸、中井先生

・相 談 件 数　31件（犬：28件、猫：３件）

(2)　動物愛護写真コンクール入選作品の展示

・平成21年度の京都府実施のコンクール入選作品を展示

(3)　動物愛護・狂犬病予防関係啓発パネルの展示

犬の系統図、猫の種類図の展示

(4)　犬・ねこのペットフードの配布

・ペットフード　約1,000パック配布

(5)　啓発パンフレット・チラシ等の配布

○　山城北・犬の適正飼養推進連絡協議会の取組み

当協議会は山城北保健所管内開業獣医師、管内市町、管内警察署、山城広域振興局農林商工部、山城北保健所で構成されており、毎年11月を犬の適正飼養推進月間として積極的な広報、啓発活動を行っておりますので、今年度の主な取組についてご紹介します。

また、今年度、糞害啓発ののぼりを新たに作成し、啓発に活用しました。

◆　市町イベントにおける

動物健康相談等啓発事業

市町開催イベントにおいて適正飼養啓発のブースを設け、動物健康相談を行うと共に、啓発チラシ・ペットフード試供品の配布や適正飼養啓発パネル等の展示を行いました。

月　日（受付時間）	イベント名	対応先生	相談件数
11月３日（祝）（11:00～12:00、13:00～14:00）	JOYO産業祭（城陽市：文化パルク城陽）	森田（豊）先生、森口先生、小林（弘）先生、山口先生、宮野前先生（保健所）	13件
11月23日（祝）（11:00～12:00、13:00～14:00）	ふるさとフェア久御山（久御山町：久御山中央公園）	石田先生、武光先生、三谷先生（保健所）	５件

◆　わんわんクリーンキャンペーンによる

啓発事業

市町と共に、犬の散歩中の飼主に糞袋等の配布等啓発を行いながら、糞等の回収を行いました。併せて、啓発のぼり・広報車による広報を行いました。

この取組は新聞にも取り上げられ、効果的な啓発になりました。

月　日	地　域	対応先生
11月13日（金）14:30～15:30	城陽市：鴻ノ巣運動公園周辺	森田（豊）先生、岡本先生（保健所）
11月26日（木）14:30～15:30	宇治市：塔の島周辺	村田先生、宮野前先生（保健所）
11月27日（金）14:30～15:30	久御山町：久御山町栄周辺	助川先生、大石先生（保健所）

（文責：関本裕之）

街頭クリーンキャンペーン

久御山町　犬の適正飼養推進月間

【啓発チラシなど配布する職員ら】

犬の適正飼養推進月間（11月）に呼応して久御山町は27日、街頭クリーンキャンペーンを展開した。

キャンペーンには、同町のほか府山城北保健所、府動物愛護管理センターなども参加。

同町佐山宮ノ後の佐山排水機場に集合した一行は、特に犬の散歩コースとなっている古川沿いから栄線の回廊を栄みどり公園まで同月間をPRするノボリを手に歩いた。

途中、犬を散歩させている飼い主には、啓発チラシ兼糞袋を手渡し、ふん害防止を訴えたほか、ポイ捨てゴミなども回収した。

平成21年11月28日(土)
城南新報

京都支部

○　平成20年度第１回役員会

上記役員会を10月31日(土)に京都獣医畜産会館３階会議室で開催しました。

先ず京都支部選出の安田理事より本会の動きについて報告がありました。

その後、支部研修会並びに懇親会の内容・日程について協議。

12月19日(土)に京都市動物園の施設を見学することに決まりました。

○　平成20年度ワンワンセミナーの開催

府乙訓保健所管内では「犬の適正飼養推進乙訓地域連絡協議会」が設けられ、犬の飼育管理に対する指導や長寿犬表彰などの事業が市・町並びに保健所と開業獣医師の連携のもと行われています。

本年度の上記セミナーは、11月20日(金)午後１時30分から乙訓保健所で開催されました。

始めに協議会会長で支部会員の西谷宏一先生から挨拶があり、当日表彰を受けた長寿犬の飼い主さんに対して、これまで適正な飼育を続けられた御礼と長年の労がねぎらわれました。

次に本会を代表して本部の若松副会長から挨拶があり、ご自分の愛犬飼育体験談を交えながら犬の適正な飼育管理の必要性と、府下では唯一である当協議会の活動が非常に重要な活動であること、そして府獣医師会の取り組みについてのお話がありました。

続いて長寿犬の表彰があり、当日表彰された15頭の内出席された９頭の飼い主さんに、西谷会長から表彰状が授与されました。

最後に犬の健康相談が実施され、西谷会長を含む管内２名の獣医師が対応しました。

表彰状授与式

南丹支部

○　獣医学学術向上研修会

日　時：平成21年11月１日(日)

場　所：玉川楼

出席者：16名（山城支部から１名参加）

内　容：

南丹広域振興局農林商工部農林整備室の片山達也先生から「アライグマ対策の現状について」と題して、管内でも増えつつあるアライグマ被害の現状と対策について、また南丹保健所環境衛生室の河野通大先生から「飼育動物の適正管理に向けた課題について」と題して、ペット（犬、猫等）の適正飼養を指導する保健所獣医師の取り組みと課題について講演を頂きました。

いずれも、参加者から活発な質問があり、大変有意義な研修会となりました。

また、研修会終了後には交流会も開催し、会員相互の親睦を図りました。

○　動物慰霊祭

日　時：平成21年12月２日(水)

場　所：金光寺

出席者：11名

内　容：

立冬も過ぎ、朝夕一段と冷え込む折、南丹支部主催の動物慰霊祭を行いました。

当日は、好天に恵まれて小春日和のもと、住の厳かな読経の中、焼香をあげ、放生の儀を執り行いました。法要を終えた後､住職から「動物の死の尊さ」について講話をいただき、参列者一同、心を新たにしました。

中丹支部

○　支部役員会

日　　時：平成21年９月８日(火)

場　　所：京都府綾部総合庁舎

出 席 者：９名

協議事項：中丹支部視察研修会の開催及び福知山産業フェアー参加について

○　中丹支部視察研修会の開催

日　　時：平成21年11月８日(日)

場　　所：日本競馬会（ＪＲＡ）栗東トレーニングセンター　滋賀県立琵琶湖博物館

参 加 者：会員及び家族　28名

内　　容

支部研修事業の一環として、今年度はＪＲＡ栗東トレーニングセンター競走馬診療所と滋賀県立琵琶湖博物館を訪れました。

当日は、センターの獣医師から競走馬の診療施設や診療内容を中心に説明を受けました。競走馬の蹄鉄は、運動器病を予防するだけでなく、勝敗のカギを握る程重要なこと、関節鏡による骨片摘出術の説明や呼吸器病診断で使用する内視鏡の検査方法など、経験の少ない馬の獣医療に触れ、獣医学的見聞が広まりました。

琵琶湖博物館では、大学時代の解剖学実習を思い出す各動物の骨格標本が特別展示されており、また館内の水族館では琵琶湖をはじめ世界中の淡水魚の生態を学ぶことができ、子供から大人まで楽しみながら、会員同士の親睦を深めることができました。

○　支部会員の異動

◇　退会者

氏　名	勤　務　先	退 会 日
臼井弥惣一		H21.11. 4

丹後支部

○　平成21年度丹後獣医師会役員会の開催

10月７日(水)、京都府丹後家畜保健衛生所において、役員会を開催しました。会議では新公益法人制度移行に伴う支部のあり方、平成22年１月30日に京丹後市峰山町で計画している支部研修会などを協議しました。なお、研修会の内容は次のとおりです。

「アフガニスタン・ミドリの大地計画の現場から」

講師：非政府組織「ペシャワール会」　高橋　修氏

「牛コクシジウム症の病態と新たな予防薬剤」

講師：バイエル薬品株式会社　岩田　隆氏

○　平成21年度丹後地域高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

12月３日(木)、京都府峰山総合庁舎において、丹後広域振興局主催の上記防疫演習が開催されました。今回の演習では「食鳥処理場での高病原性鳥インフルエンザ発生」という想定がされていたために、共立検査室の全検査員が出席し、また、本部から比留木事務局長にもご出席いただきました。

日々の食鳥検査業務において、いつ本病が発生するかわからないという不安がある中で、万一の場合

に備えて、検査員の現場対応、保健所や家畜保健衛生所の防疫対応について理解することができました。

○　平成21年度高病原性鳥インフルエンザ検査研修会

共立食鳥検査室では、12月４日（金）㈱共立会議室において、丹後保健所の中澤、仲井両先生を講師にHPAI検査研修会を実施しました。防護服を着用して、気管スワブ、クロアカスワブからぬぐい液を採取しスクリーニングテストを実施しながら、お互いに確認しあいました。検査後は、プラットホームでの生鳥検査、関係機関への連絡、㈱共立との連け

エバルスアグロテック株式会社
everlth
AT

本社所在地　〒700-0822 岡山市表町３丁目５番１号
電話・ＦＡＸ　電話 086-224-1811 FAX 086-224-1819

近畿営業部

京都営業所　〒601-8212
京都市南区久世上久世町83-1　TEL 075-925-1137　FAX 075-925-4878

和田山営業所　〒669-5213
朝来市和田山町玉置1107-4-101　TEL 079-670-1311　FAX 079-670-1312

大阪営業所	〒578-0951	東大阪市新庄東2-13	TEL 06-4309-9339	FAX 06-4309-9330
泉南出張所	〒590-0522	泉南市信達牧野441-4	TEL 072-480-1131	FAX 072-482-5533
西宮営業所	〒663-8114	西宮市上甲子園4-12-6	TEL 0798-37-0524	FAX 0798-37-0532
姫路営業所	〒670-0971	姫路市西延末84-1	TEL 0792-99-2850	FAX 0792-99-2851

営業項目
動物用医薬品、医薬品、飼料添加物、混合飼料、動物用器具・器材
土壌検査器具・器材、他畜産関連商品

部会だより

総合部会

第１回三役会議

平成21年５月23日（木）
研修会開催計画打ち合わせ
京阪奈学研都市の視察を決定

研修先下調べ

平成21年７月９日（木）
京阪奈プラザ、積水ハウス納得工房他

第２回三役会議

平成21年７月23日（木）京都獣医畜産会館
研修会開催詳細計画打ち合わせ
準備事務分担協議

積水ハウス納得工房視察と薬膳料理研修

平成21年11月１日（日）木津川市兜台の積水ハウス総合住宅研究所納得工房の視察研修を行いました。

企画当初はご家族連れなどで参加者多数の場合は先方の予約制限により先着優先にせざるを得ないかと心配しましたが、開催場所があまりにも南に偏っていたためか、北部の方の参加が少なく、参加申込者は当初15名でした。それに部会の構成員が比較的高齢の方が多いためか、季節の変わり目に近親者が体調を崩されて、緊急の見舞いで欠席するといった方が続出し、結局11名となりました。

当日は近鉄高の原駅に集合し、同研究所の入り口にある薬膳レストラン「あわさい」においてゆっくりと昼食を摂り、薬膳料理について講義を受けました。

講義の受け売りを書き出しますと、薬膳料理とは、東洋医学に基づいた予防的食養生をいいます。東洋医学には、健康と病気の間に「未病」という概念があり、この段階で食事により健康に戻すのが薬膳です。薬膳の基本理念は、「体に合った旬の食材をバランスよく摂り、自然治癒力を高め、病気になりにくい体質をつくり、元気に天寿を全うする」です。当日は、その基本である「五味」と「五性」について学びました。体を温める食材、冷やす食材と分類されると、将に納得といったことで、少し賢くなった気がしました。

午後は、積水ハウス住宅総合研究所の広報担当者に案内していただき、テーマ毎に設けられた展示室において、立て板に水といった調子で、懇切丁寧なご説明をいただきました。風呂場の床の滑りにくい素材、高齢者の風呂場の事故防止用手すりや椅子の工夫、防犯対策の工夫、万一の地震に耐え、住まいの安心を支える構造についての解説、暮らしの華やかさ、ゆとりを演出する「あかり」の効用、生活シーンに合わせた照明のあり方など、視察時間が短すぎたと悔やまれるような豊富な内容でした。愛犬や愛猫との豊かな暮らしを演出する工夫もあると聞いていましたが、今回は時間不足で、そこまでの話は聞くことができませんでした。他にも説明を受けなかったコーナーが多々ありましたので、今度は個人的に申し込みをして家族で出かけたいと思いながら、迎えのバスに乗りました。

三次会は城陽市の馴染みの店で夕刻まで、歓談して満腹になって解散しました。

今回は、北部の会員の方々に大変申し訳ないことだったと反省しきりです。次回は北部開催として、良い企画の提案をお願い申し上げます。

（文責：比留木俊信）

産業動物部会

1　平成21年度近畿地区連合獣医師大会

平成21年９月27日(日)に和歌山県のホテルグランヴィア和歌山で開催された大会には、本部会から６人が参加しました。

2　日本産業動物獣医学会＜近畿＞

平成21年10月18日(日)に真新しい大阪府立大学りんくうキャンパス等で開催され、京都府獣医師会から産業動物に関する発表５題と特別講演１題があり、本部会から18人が参加しました。杉浦伸明先生、矢倉寿代先生、山内幸先生が発表された３題は、特に高い評価を得て、研究奨励賞に選出されました。

3　人と動物の共通感染症講演会

平成21年10月28日(水)にルビノ京都堀川において、京都府獣医師会の主催により「ダチョウ卵黄を用いた感染症防御用素材の開発」と題して、京都府立大学・動物衛生学教室教授塚本康浩先生の講演会が開催され、本部会から15人が参加しました。

4　平成21年度産業動物部会研修会

平成21年12月６日(日)に亀岡市楽々荘において、産業動物部会員の学術及び技術向上のため、研修会を開催しましたところ、35名の参加があり活発な質疑応答がなされて充実した研修会となりました。

(1)　日　時　平成21年12月６日(日)
　　午後２時から４時
(2)　場　所　楽々荘　亀岡市北町44番地
(3)　内　容　牛呼吸器病に関する技術研修
　①　演題　「牛ＲＳウイルスを主体とした
　　牛呼吸器病の最近の知見について」
　　講師　株式会社　微生物化学研究所
　　参事　函城　悦司先生
　②　演題　「牛呼吸器病予防と対策」
　　講師　兵庫県農業共済組合連合会臨床研修
　　課長　荻野　好彦先生

研修会後の意見交換会においても、熱心な情報交換が続きました。

小動物部会

平成21年度　第2回学術講習会

11月８日(日)京都獣医畜産会館４階大会議室において、平成21年度小動物部会第２回学術講習会を開催しました。今回は、北里大学獣医学部小動物第2外科学研究室教授岡野昇三先生をお迎えして「中毒症状を示す動物に対する診断と治療」について講演をいただきました。

当日は、近県はもとより、遠くは神戸、和歌山まで、総勢68名（内府獣会員25名）の先生方に参加をいただきました。岡野先生のお話は、単なる中毒の話だけではなく、緊急対応症例に対する具体的な治療方法も含まれており、臨床の現場で働いている私達にとっては明日からでもすぐに役立つ内容だったのではないでしょうか。

（文責：兼光弘章）

公衆衛生部会

平成21年度総会を開催

平成21年９月５日(土)、京都府庁福利厚生棟において平成21年度総会を開催しました。

９月初旬と言う時期にも関わらず、会場のエアコンが入らないというハプニングに見舞われ、出席者全員が団扇を片手に汗だく状態で審議を行うとても熱い（いや、暑い）総会となりました。

併せて、御臨席いただきました原会長に「公益法人制度改革について」と題して、公益法人改革の概要、この改革に伴う府獣医師会の課題、今後の進め方等について講演をいただき、新公益法人移行の難しさを改めて認識したところです。

また、総会に引き続き懇親会も開催し、会員の親睦を深めました。

こちらの会場はエアコンが良く効いていましたが、とても熱い懇親会となりました。

（文責：三影博司）

獣医師の職場紹介

京　都　府　庁

京都府健康福祉部　生活衛生課

生活衛生課は京都府庁２号館２階に事務室があり、職員25名（うち獣医師６名）の部署で、所管する業務は公衆衛生から動物愛護管理まで多岐に亘ります。

なお、一部の事業については、京都府獣医師会にご協力いただいております。

本課には以下の３担当があり、その業務内容は次のとおりです。

★生活営業担当

理容・美容・クリーニング・旅館・公衆浴場及び墓地などの環境衛生業務をはじめ各生活営業組合の関係業務を行っています。

保健所の環境衛生指導員に任命されている獣医師等と協力して、監視指導を行っています。

★食品衛生担当

食中毒や残留農薬・異物　混入など食品に起因する危害の防止をはじめ、食品の適正表示指導や食品検査計画などの保健所や保健環境研究所等との調整を行うとともに、調理師や製菓衛生師・ふぐ処理師の試験・免許事務も担当しており、３名の獣医師が従事しています。

また、食鳥検査事業については、府獣医師会に委任し、獣医師派遣等御協力をいただいております。

★動物愛護管理担当

狂犬病予防業務をはじめ、動物愛護管理法に基づく事務を担当していますが、主に犬・猫の引取や犬害等の苦情処理、動物愛護事業などを行っており、こちらも３名の獣医師が従事しています。

特に、市町村及び府獣医師会と連携し、狂犬病の予防強化に努めています。

府民の安心・安全確保を担う職場であり、獣医師職員が果たす役割は大きいと考えています。

（文責：生活衛生課　三影博司）

京都府農林水産部

京都府畜産課は12名の職員で構成され、課長以下、畜産振興担当と家畜衛生担当の２つに分かれています。畜産振興担当には７名の職員がいますが、現在、獣医師職員は配置されていません。一方、家畜衛生担当には4名の職員がいますが、全てが獣医師で構成されています。

家畜衛生担当では家畜伝染病の発生予防とまん延防止に関することや家畜保健衛生所の業務の取りまとめ、連絡調整に関することが主要な業務です。実際に農家に赴き、指導や防疫対応を行うのは家畜保健衛生所の獣医師職員ですが、その業務が円滑に進むよう、国と折衝を行いながら、京都府全体で一括した防疫体制がとれるよう、調整を行っています。また、京都府獣医師会をはじめとした畜産関係の公益法人の監督（偉そうな言い方で恐縮ですが）と、獣医師法及び獣医療法に関するいわゆる獣医事を担当しており、京都府獣医師会や会員の皆様には仕事の上でも大変お世話になっているところです。そのほか、産業動物の診療体制に関すること、人工授精や受精卵移植に関する講習会を開催し、免許証を発行する業務なども行っています。

また、京都府農林水産部では平成20年度から**食の安心・安全推進課**が新設され、同課の食の安全担当に獣医師が一名配置されるようになりました。ここでは、従来畜産課の担当業務であった薬事法や飼料安全法に関する監視指導を行っているほか、食品表示違反や土壌汚染、農業公害に関する取り締まりを行うなど、食の安心・安全を守るための幅広い業務を行っています。こうした従来の獣医職の枠を超えた業務に携わるようになるということは、社会の中で獣医師に求められる役割が多様化していることの現れではないかと思っています。畜産課とは課が異

なるとはいえ、位置的には畜産課のすぐ隣にあり、また、薬事と獣医事は強いつながりがあることもあり、密に連絡を取り合い、協力して業務に当たっているところです。

こうした畜産行政分野の仕事は、動物に触れることも滅多になく、獣医師の携わる仕事の中でも獣医師らしくない仕事の一つとして挙げられるところですが、前号の紫友で掲載された毎日新聞の記事にあるように、「安心の番人」としての役割を自覚して日頃の職務に当たっているところです。

（文責：畜産課　石森　裕）

新入会員のプロフィール

中丹支部

中西　　中

初めまして。４月より舞鶴動物医療センターに勤務しております中西　中と申します。出身は北里大学で病理学研究室に所属していました。学生時代は温泉、祭りなど東北を満喫しましたが、舞鶴でも多くの経験ができればと思っています。

勤め始めて数カ月、知識も技術も未熟ではありますが、動物の医療に携わる者としての自覚を持ち、日々努力を怠ることなく誠意を持って動物や飼い主さんと向き合っていきたいと考えていますので、ご指導のほどよろしくお願いします。

原崎　裕介

はじめまして、この４月から舞鶴動物医療センターで勤務しております原崎裕介です。酪農学園大学出身で実験動物学教室に所属していました。学生時代は北海道に住んでいたということもあり、よくドライブに出かけていました。

舞鶴に住み始めて早３ヶ月、院長を始め周りの方からとても良くしていただき、また街にも早く馴れることが出来ました。　臨床の知識、飼い主さんとのコミュニケーション能力などまだまだ至らぬ自分ですが、これから一歩一歩成長していける様に頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

最近の話題

犬の慢性痛見抜けます　獣医師ら判断基準

犬や猫の痛みを和らげることをめざす獣医師らが、犬の関節炎などの慢性痛の日常のしぐさなどから見抜く12項目の基準をまとめた。慢性痛の治療の第一歩は、飼い主が気づくこと。当てはまる項目があれば、あなたのワンコも痛がっているかもしれない。（新井正之）

基準は獣医師や医薬メーカー関係者らでつくる「動物のいたみ研究会」が作成し、20～22日に大阪市で開かれた動物臨床医学会で発表された。

2003年に発足した研究会は４年前に犬の急性痛を判断する国内で初の基準を発表。続いて慢性痛の基準づくりに取り組んできた。急な痛みに比べ、関節などの慢性的な痛みは動作ではわかりにくい。ふだんから犬の様子を見ている飼い主が気づかなければ、動物病院に連れて行くのが遅れて病状が悪化する恐れもある。

このため、まずは飼い主が判断できるように、四肢の関節や脊髄（せきずい）などに病気のある犬の飼い主にアンケートを実施。４カ月から17歳までの100匹について散歩や室内の様子などの記述を集め、解析する作業を続けていた。

評価基準は「散歩に行きたがらなくなった」「階段の上り下りを嫌がるようになった」など12項目。今後、基準をチェックシートにするなどして動物病院に配り、飼い主への問診や啓発に利用する。犬のしぐさと痛みのひどさの相関関係についても、検証していく方針だ。（朝日新聞　09.11.30(月)）

お知らせコーナー

（ぜひご一読ください）　　京都府獣医師会

税に関する相談、法に関する相談について

◎“税”に関する相談について

年が明けますと、例年頭を悩ます税の申告の時期（２月～３月）が近づきます。税は国民の義務とは承知していても、何かと難しいものです。本会ではご存知のとおり、下記税理士の先生を顧問としてお願いしております。

税金に関して何でも遠慮なくお早めにご相談下さい。

〒611-0043　宇治市伊勢田町北山37-6
TEL：0774-23-3887
田中健三税理士事務所

◎“法に関するいろいろな問題について”の相談について

法律にかかわる問題や悩みごとは難しいものです。会員の方々で法的な問題（獣医師業務、その他一般的な問題等も含めて）について下記の本会顧問弁護士さんにご相談下さい。

〒604-0804　京都市中京区堺町通夷川上ル衣屋町131番地
TEL：075-221-5590
猪野・曾根法律事務所

獣医師会会員証作成申込みの締切りについて

獣医師会会員証の作成については、平成21年４月１日から９月30日までに申込みされた分については、既にお届けいたしましたが、次回は平成22年３月31日までに日本獣医師会に申し込まれた分を４月以降に作成される予定になっています。

つきましては、会員証作成申込みの際には、獣医師免許登録番号を明記のうえ、本会まで申込みくださいますようにお知らせします。

個体識別マイクロチップ普及事業の実施について

平成17年から５カ年間本会独自事業として継続実施してきた高度獣医療推進事業が平成21年11月をもって終了するに伴い、21年度からの新事業として企画した上記の事業が動き始めています。

小動物委員会における度々の打ち合わせを経て、漸く実施要領の骨格も固まり、本格的にスタートしました。

機種の選定、関係機関･団体への説明と協力要請、業者見積もり、小動物部会のA会員への事業参画呼びかけなど、年度後半に集中して進めていく必要があります。

この事業の成否は会員各位のご理解とご協力の如何に懸かっています。すべてのA会員がリーダーを設置されて、１頭でも多くマイクロチップの装着をしていただきますようによろしくお願いします。

この事業の概要は次のとおりです。

個体識別マイクロチップ普及事業（新規）

㈳京都府獣医師会

本会は犬及び猫が自然災害時等において飼養者不明となった場合の身元確認や迷い又は遺棄された犬等飼養者の明確化を図るとともに、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づいて動物愛護・福祉の向上に努めるために、マイクロチップによる個体識別（ID）を普及・推進し、広く社会に貢献するものとする。

１　内容

事業の内容は次のとおりとする

(1)マイクロチップリーダー（読取器）の設置
・本会会員（小動物部会のA会員）が開設している小動物診療施設のうち、設置希望施設
・京都府内（京都市を除く）の警察署及び市町村

(2)マイクロチップの支給及びマイクロチップの装着
・マイクロチップの支給：Ａ会員（小動物診療所

を開設している者）
・装着する対象動物：京都府内で飼育されている登録犬および猫
(3)マイクロチップの普及啓発
・講習会等の開催
・パンフレット等の作成、配布

2　事業主体　㈳京都府獣医師会

3　実施期間　平成21年度から平成23年度の３カ年
ただし、リーダーの設置は平成21年度の単年度

4　事業の全体計画
・リーダー設置：Ａ会員85施設
警察署及び市町村45公所
・マイクロチップの装着：登録犬等10,000頭（３カ年）

5　助　成
・リーダー　Ａ会員：購入価格１/２以内
警察署及び市町村：寄付
・マイクロチップの配布
本会が調達して、無償配布

6　その他

退職のご挨拶

前事務局長　藤原　勝美

平成21年９月30日をもって京都府獣医師会を退職させていただきました。

平成18年２月１日に事務局長の辞令を受けてから３年間余りの在職でした。

事務局に入って最初に感じたことは、狂犬病予防注射をはじめとする小動物部門に関する業務が圧倒的に多く、産業動物部門でやってきた私にとっては、改めて勉強しなければならないことがほとんどという状況でした。

脇田、原両会長の適切な指導が得られたこと、事務局の先輩である田中さんから適宜アドバイスをしていただいたことにより、失敗もしながら与えられた仕事をなんとかやってこれたという思いがしております。

またこの間、役員各位をはじめ会員の皆様方からご指導、ご鞭撻をいただきましたことに感謝申し上げますとともに、ご迷惑をおかけしたことも多々あったのではないかと反省をしている次第です。

京都府獣医師会は狂犬病予防注射、食鳥検査、その他多くの事業を実施していますが、事業量、予算額からみても会の屋台骨は狂犬病予防注射であります。この事業は、収益事業でもあり、市町村から委託をされた公益性のある事業でもあります。現在、社団法人の見直しの時期に入っており、ここ２～３年のうちに公益社団法人になるか、一般社団法人になるかを選択することになります。現在の府獣の事業内容からして十分公益に値するものがあると考えられますので、課題を今後じっくり整理して、社会に貢献する団体として名実ともに認知される公益法人を目指して進むべきであると思います。

今後も京都府獣医師会会員として、皆様とともに歩んでまいりますので、よろしくお願い申しあげます。以上をもちましてお礼のご挨拶といたします。

着任のご挨拶

新事務局長　比留木俊信

藤原前事務局長の後任として10月１日から、お世話になっています。各支部事務局へ電話でご挨拶した程度で、皆様には大変失礼いたしていますが、お許しをいただきたいと存じます。

着任直後から獣医師会のこれまでの様子も分からないまま、ただただ目の前の事業消化、事務の片付けに追われ、会長や他の役員さん方、事務局の田中さんのお力添えで今日まで歩んで参りました。

府民公開フォーラム代替事業（「人と動物の共通感染症」講演会の開催、福知山産業フェアへの参加）の遂行、狂犬病予防注射済票の市町村毎の交付開始、狂犬病関係各種規程や要領の改訂、個体識別マイクロチップ普及事業の開始と、今年はどうも異常な年のようですが、惚けかけた老骨には完全に目覚ましになったようです。

無我夢中の毎日ですが、失敗しながらも役員各位のご指導を得ながら、一生懸命に勤めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

会員の広場

映画「犬と猫と人間と」を鑑賞して

京都支部　安田　信宏

日本で処分される犬と猫は年間30万頭以上。一日に1,000匹近くになる現実があります。このドキュメンタリー映画は、そんな動物たちの現状を淡々と伝えていきます。決して批判的にならず、ヒステリックにもならずに。

私は小動物臨床獣医師ですので、それこそ毎日「犬と猫と人間と」を相手に仕事をしています。が、この映画に出てくる犬、猫、人間は、私が日頃接している動物たちとは「ちょっと」違います。例えば愛護センターに送られて処分される運命の犬、河原に住みつき洪水で流されてしまう猫、そして、そんな動物たちに無償の愛情を注ぐ人々。飯田基晴監督は、そのような「生き物たち」を登場させることによって、観客に動物愛護についての意識を高めて欲しかったと同時に、私たちのように犬と猫に関わる仕事をしている人間に対しても、問題提起をしているように思えてなりません。

「毎日命と真っ直ぐに向き合って、仕事をしていますか？」と。カメラは動物愛護センターの中にも入っていきます。そこで働く人々の苦悩が手に取るように伝わってきます。

本当は動物が好きな職員さんたちが、一部の不心得な人間の尻拭い（殺処分）をしなくてはいけないというジレンマ。現場で日々努力されていることを思えば、環境省の立てている目標通り、今後10年間に犬猫の処分頭数を半減させることは可能でしょう。京都ではもっと劇的に処分頭数を減らすことができるかもしれません（期待を込めて）。

しかし、動物愛護団体が口にするような「処分頭数ゼロを目指す」というのは、空想にしかすぎません。今ある現実を受け止め、動物たちにとって「少しでもマシな世界」にする努力を積み重ねていくしかないのです。

飼えなくなったから棄てる、増えすぎたから処分する、そんな身勝手な所行を繰り返していて良いはずはありません。

「不妊手術は命に対する冒涜である」というような主張をする人々もおられますが、無責任な繁殖を放置することが命を粗末にする結果となっているという現実があります。私たちは、毎日の仕事の中で、これまで通り犬や猫の適切な飼い方を指導し、実践していくべきでしょう。

映画の中で獣医師の大先輩である前川博司先生は、「平和で、裕福であってこその動物愛護」と語っておられましたが、これは私の頭の中にあった考えと正にぴったりと合致しました。

そう、この国は、平和でなくてはいけません。しかし、自らは何もしないで、与えられた平和に乗っかって仕事をするだけというのは、余りにも虫が良すぎるのではないでしょうか？　平和な社会を維持するために、よりよい社会を実現するために、我々も何か行動すべきなのではないでしょうか？　かく言う私も、そのために自分が何をすべきか、今のところまだ見えておりません。平和憲法を堅持する運動に傾注するのか、動物愛護事業に投身するのか、子供たちに動物愛護教育をしていくのか、諸先生方はどのようなことを実践しておられますか？

この映画に関しては、かなり強烈な内容ですので、一般受けはしないと思いますが、一方で「すべての獣医師はこの映画を見るべきだ！」、と思いました。皆様がこの文章をご覧になる頃には、ロードショーは終了してしまっているでしょうから、ＤＶＤとなって販売された暁には是非ご自宅で鑑賞してみてください。

通院から学ぶこと

南丹支部　伊東　敏

私の手の甲に１個また１個と疣が増えてきました。

最初は年齢による皮膚のシミかと思っていましたが、直径１～２㎜の小さな隆起状の疣から、直径１㎝位の乳頭状の大きな疣まで、半年間で約30個近くになりました。

これは大変と早速、皮膚科へ直行し、受診したところ､担当医からヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）による扁平疣贅と診断されました。免疫力の低下によるところが大きく、決定的な治療法は無いそうです。

治療法が無い中で、どのような処置が施されるのか興味津々でした。そこで登場したのが、紙コップに入った液体窒素です。その中にピンセットで摘んだ小さな綿球を浸し、全ての疣に１～２秒直接塗布します｡一瞬､痛みが走りますが､我慢の範囲内です。

それにプラス、ヨクイニン（ハト麦）を１日３回内服。２週間に１回、毎日同じ処置が繰り返し施されました。

１ヵ月後、直径１㎝の一番大きな疣が外縁から融解するように小さくなりました。小さな疣は治療により消失。しかし、新たな疣が発現するので、症状は一進一退です。

近年、小動物にもこの液体窒素を利用した疣治療が広く普及しているので、当院（いとう動物クリニック）でも導入しようか悩んでいました。因みに、当院では、局所麻酔後、半導体レーザーにて蒸散又はインドシアニングリーンを疣内に0.1～0.3㎖注入後、表面照射を施しています。

コスト、安全面からは液体窒素法、治療期間短縮なら半導体レーザーと、各々一長一短です。この液体窒素法を導入するか否かは、私の疣の治療により得た体験を考慮して判断しようと考えています。

私は今まで病院嫌いで漠然と通院していたのですが、病院には参考になるヒントが数多く隠されていることを知り､通院の楽しみを知りました。今では、内科、皮膚科、歯科及び接骨院と通院スケジュールで大忙しです。新たに役に立つ治療法があれば、次の機会にご紹介させていただきます。

獣医師の社会的経済的地位の向上について

中丹支部　平野　力

過日、毎日新聞に獣医師の立場についての記事が掲載されていました。それは「広い職域･重い責任･低い認知度」を指摘し「安心の番人･人材確保急務」とのものでありました。

長い論文を読みながら、私の永い獣医師生活の中で、日頃多くの分野で社会的に働いている獣医師であるのに、社会的存在価値があまり認められず、その職業に対する待遇の低さを痛切に考えていた私は、我が意を得たりと思うと同時に、我々は一層人格と教養を高め、技術や知識の安売りでなく、当然の報酬が得られるよう努力すべきだと感じました。

以前、私は地元中学校より獣医師の仕事についての講演を要請されました。私は、獣医師の仕事は小動物診療としか思っていない生徒に、牛や豚、緬山羊、養鶏などの産業動物や、人畜共通伝染病予防、公衆衛生部門で活躍する獣医師について、話をしました。人工授精や牛の流感・鶏インフルエンザの伝染病予防、牛乳・と畜・食鳥・BSE検査、水産卸売市場や検疫所などで、日本の安全な食文化を守り、中央諸官庁や地方庁保健所、家畜保健衛生所、動物園、水族館、乳業会社、畜産団体、大学、研究機関、製薬会社など多方面で活躍していることを話すと、生徒たちは目を丸くして、こんなにあらゆるところで働いて居られるのかとびっくりしていました。

随分前のことです。合理化の波が押し寄せた時、家畜保健衛生所を廃止せよとの話が持ち上がりました｡政治家は農業改良普及センターを知っていても、家畜保健衛生所は何をする所か知らない人もいたようです。中央官庁や国会に電報作戦を行い、廃止の動きを中止させて存続させたことを思い出します。

私も学校卒業後、厚生省研究所（現：国立感染症研究所）で公衆衛生学を学び、大阪府庁で乳肉衛生を担当し、陸軍獣医部で軍馬治療を、復員後は天田畜連（天田郡畜産販売農業協同組合連合会）で和牛、乳牛、緬山羊、養豚の診療、人工授精や経営指導、家畜登録審査員などに従事しました。繁殖障害除去の子宮洗浄や妊娠鑑定などは、昔は素手で肛門から手を挿入して多くの牛を次々と処置しましたし、難産、後産停滞除去手術など必死で取り組みました。他人が見れば随分汚い仕事だったと思います。昼夜の別なく深夜積雪の中のオートバイでの往診は、身の危険を感ずることもありました。

このような勤務の私達の給料は、病院の看護師の給料より安く、是正を訴えると、医療職とは賃金形態が違うとのことで、人医の給料と比べると雲泥の差です。今もこのことは続いています。

獣医学生も医学生と同じ６年生の修学年数で、国家試験に合格して始めて獣医師免許証が授与される訳ですが、社会に出て一人前になるのには、経験と学習がなお必要で、生涯学習で研鑽を深めていかなくてはなりません。

獣医師になり70年近くなり、もう体力も限界、第一線より引退の時期も近づいていると思います。私が獣医師を希望した時「孫は伯楽にしか行くところないのか」と嘆いた祖母の感じた時代と異なり、今は私たちの先輩のお陰で獣医学も進歩し、高度獣医療も取り入れられて、新進気鋭の若い先生方の力で大きな発展を遂げてきています。しかし、社会的にはまだまだ認められず、不安定なところが多く、特に待遇改善は急務と思います｡畜産の振興策を図り、小動物診療のみに偏重しない政策も必要と感じつつペンをおきます。

最近の話題

飼い犬25％日本脳炎感染　ウイルス運ぶ蚊身近

全国の飼い犬の４匹に１匹が日本脳炎に感染しているとの調査結果を、山口大の前田健教授らがまとめた。豚から人や犬にウイルスを広げる蚊が、養豚所周辺から市街地まで飛んでいるためのようだ。犬から人には感染しないが、媒介する蚊が身の回りにいて、人への感染拡大の危険性を示すものとして、専門家は注意を呼びかけている。（坪谷英紀）

西日本に多い日本脳炎は体内でウイルスが増える豚の血を吸った蚊を介して、人などに感染する。犬や人からは蚊は介しても人に感染しない。感染者の発病率は１％以下だが、重症化すると高熱、意識障害を起こす。脳症になると２～４割が死亡する。感染した犬が発症した例は報告されていない。

前田教授（獣医微生物学）らは06～07年に47都道府県の動物病院にかかった犬652匹の血液をとり、日本脳炎ウイルスの抗体ができているか調べた。その結果、25％に抗体があり、感染していた。

地域別では、四国が61％で最も多く、次いで九州が47％だった。ほかは中国26％、近畿23％、中部18％、関東17％、東北９％、北海道０％、市街地で24％、住宅地で21％の犬が感染、室外犬は45％、室内犬も８％が感染していた。

ウイルスを運ぶコガタアカイエカは30キロ移動するため、豚の血を吸った蚊が都市部まで飛んでいるようだ。

ワクチンの集団接種により60年代に感染者は激減し、最近の感染者は年間数人しかいない。ワクチンの副反応による重症者が出たことで、05年に厚労省は接種を積極的に勧めることをやめ、現在は大半の子が受けていない。

前田教授は「今後、ワクチンを打っていない子どもを中心に感染が広まる可能性もあり、警戒が必要だ」と話す。

ワクチン検討を

国立感染症研究所ウイルス第一部の高崎智彦室長の話　猛暑で蚊が大量に発生すれば、人への感染が拡大する可能性がある。今年６月から副反応が出にくい新しいワクチンが使用できるようになっており、重症化しやすい子どもや中高年を中心にワクチン接種を検討すべきだ。

（朝日新聞　09.10.30㈮）

投　稿　欄

京都府畜産職員退職者会(九竹会)について
―　九竹会３０年の回顧　―

山城支部　　古東　淳夫

平成21年10月３日（土）「天橋立ホテル」において、来賓３名、会員30名出席のもと第30回京都府畜産職員退職者会（以下、九竹会と記す。）定期総会･懇親会を開催しました。

丹後地域では10年振りの開催でしたが、予定を上回る多くの会員さんの元気なお顔が見られ、和やかに懐旧談に花を咲かせ、楽しいひと時を過ごし盛会裡に終えることができました。

第30回という節目の会を終えたこの機に、これまでの経過を振り返り整理しておくことが将来に向けて必要であると考え、私の記憶に残っていることをまとめることにしました。

九竹会の起こりと名称については定かではありませんが、京都府畜産課内でのグループの集いがその始まりとも言われております。

私は平成２年６月、京都府を定年退職（満58歳）した時、自動的に入会となり、当時、九竹会の事務局は京都府獣医畜産会館内にあり、世話役として京都府配合飼料価格安定基金協会に勤務しておられた故及部昭夫氏（その後、礒井　進氏）と京都市獣医師会に勤務の故大西善一氏（その後、京都府獣医師会の中西義富氏）が会の運営に携わっておられました。翌年の1991年（平成３年）に綾部市で開かれた時に初めて出席し、以後毎年出席していますが、その後の開催状況は別表のとおりです。

なお、過去の記録を調査の結果、昭和53年に第１回が開かれたことはほぼ間違いないことがわかりましたので、1978年（昭和53年）をもって発足の年としました。第１回から1990年（平成２年）の第13回まで、会は毎年開催されていたようですが、確かな記録が無いため詳細は不明です。

一方、1969年（昭和44年）に府の畜産関係の現職員が“スポーツを通じて交流と親睦を図ろう”をスローガンに発足した「京都府畜産関係公所職員親睦ソフトボール大会」があり、私はこの大会の発足当初から世話役として積極的に従事することになり、1987年（昭和62年）の第17回ソフトボール大会から九竹会にＯＢとしての参加が勧められ、グラウンドで賑やかに楽しく球技を通じて現職や応援の家族との交流が図られるようになりました。平成16年に京都で高病原性鳥インフルエンザが発生し、その後諸般の事情からソフトは中止になりましたが、ＯＢチームの健闘が光った年もありました。

この頃から九竹会の活動が活発になってくるとともに会員数も増加し、100名を超える状況となり、かねてから組織だった規約の必要性を求める声があり、有志（敬称略:脇田英一、白石正康、古東淳夫、吉岡弘陞，礒井　進）により策定した九竹会規約を第26回定期総会に提案し、出席者全員の賛同により承認されました。また､同規約による役員に５名(敬称略：[会長]　脇田英一、[事務局長]　礒井　進→乾　秀治、[幹事]　古東淳夫、吉岡弘陞、礒井　進、池　博敏）が選任され、新体制が発足しました。

以降、九竹会の運営はきわめて順調に推移し、平成19年には「故山﨑泰明氏遺児育英資金」に会として協力することができました。また、不帰の人となられましたが、生前よく会に顔を見せて会を盛り上げていただいた方々の面影が偲ばれます。

「第30回九竹会定期総会」の役員改選において、初代会長の脇田英一氏が退任され、不肖私古東がその後を継ぐことになりました。脇田会長には新体制設立から２期４年間､会の運営に多大の貢献をされ、その基盤を築いていただいたことに深甚の感謝とお礼を申し上げます。

最後に、九竹会が会員相互の交流と親睦を図り、そして府の畜産の現況を知る場として、ますます発展していくことと会員の皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げ、30年の回顧といたします。

別表

京都府畜産職員退職者会（九竹会）開催状況
《１９７８年（昭和５３年）発足》

回	開催年月日	開　催　場　所		会員数	出席数	出席率	来賓数
14	1991. 2.10（日）	綾 部 市	三喜旅館	８０	３３	４１.３	4
15	1992. 3. 1（日）	京 都 市	京都新阪急ホテル	８２	３１	３７.８	
16	1993. 2.28（日）	京 都 市	京都弥生会館	８１	２７	３３.３	
17	1994. 7.10（日）	京 都 市	京都タワーホテル	８５	２８	３２.９	2
18	1995. 7. 2（日）	福知山市	サンプラザ万助	８４	２６	３１.０	4
19	1997. 7.13（日）	京 都 市	京都タワーホテル	８６	３６	４１.９	1
20	1998. 9.19（日）	弥 栄 町	丹後あじわいの郷	８９	２１	２３.６	
21	2000. 7.30（日）	京 都 市	京都タワーホテル	９６	２５	２６.０	2
22	2001. 7. 8（日）	福知山市	サンプラザ万助	９４	２９	３０.９	3
23	2002. 9.16（日）	京 都 市	京都弥生会館	９３	３５	３７.６	2
24	2003. 9.28（日）	福知山市	サンプラザ万助	９３	２７	２９.０	2
25	2005. 1. 8（土）	京 都 市	新・都ホテル	９６	２９	３０.２	2
26	2005. 9. 4（日）	綾 部 市	ホテル綾部	１０１	２６	２５.７	3
27	2006.10. 1（日）	京 都 市	セントノーム京都	９９	２５	２５.３	2
28	2007. 9. 2（日）	綾 部 市	ホテル綾部	９９	２７	２７.３	3
29	2008.10. 4（土）	京 都 市	新・都ホテル	１０１	３２	３１.７	3
30	2009.10. 3（土）	宮 津 市	天橋立ホテル	１０１	３０	２９.７	3

※第26回九竹会定期総会において、規約の制定・役員の選出が行われ、新体制が発足しました。

（参考）

京都府畜産職員退職者会（九竹会）規約の抜粋

（目的）第３条　本会は京都府畜産の発展を期すとともに会員相互の交流を促し、親睦を図ることを目的とする。

（会員）第４条　本会は京都府畜産関係公所に10年以上在職後、退職した職員をもって構成する。ただし、平成17年９月３日以前に会員名簿に記載されている方については、会員とみなす。

（経費）第８条　本会の運営に要する経費は、必要に応じて会員が負担する。

（事業）第９条　本会はその目的を達成するため次の事業を行う。

（１）親睦会の開催

（２）会員名簿の作成

（３）その他本会の目的を達成するために必要な事項

（総会）第10条　総会は毎年１回開催する。

２　総会の議決は、出席会員の過半数をもって決する。

付　　則

この規約は平成17年９月４日から施行する。

畑

南丹支部　上羽智恵美

４年ほど前から畑で野菜を作っている。

30坪ほどのこの畑は、祖父が幼い頃からずっと畑として使用していた土地である。

柿と栗の木がそばに植えてあり、ここで祖父は家で食べるためにいろいろな種類の野菜を作っていた。

そのころの畑は､土を掘り起こすとミミズが現れ、うねは整えられて、毎日草ひきするため雑草が無く綺麗だった。

しかし、約10年ほど前から祖父は足が弱くなり、畑に行くことがなくなってから畑は変わった。

最初の数年は休日に両親と私で手入れをしていたが、あっという間に雑草が生え、荒れ果ててしまった。

そして、一度荒れてしまった畑にはなかなか手が付けられず、時間ができたら畑を耕そうと思うだけで、ずるずるとその後は放置していた。

ほとんど耕作放棄地となった畑に再び鍬を入れたのはおよそ４年前の秋。休みの日に父と一緒にまず土を耕すことから始めた。

一人が耕して、もう一人が耕した所から雑草を取る。これを交代しながら繰り返し、何とか形だけは整え、マルチを引いた。うねを土地の半分、４うね作り、その一つにタマネギを植えた。

一回目の春。残念ながら大きくならなかったタマネギを収穫し、ジャガイモを植え、トマト、キュウリ、なすの苗を植えた。

そして更に２うねを作ってほうれん草の種をまいた頃、畑に雑草が生えはじめた。

ジャガイモや各種の苗はマルチに穴を空けて植えたため比較的雑草は少なかったが、葉っぱ物には雑草があっという間に生え、何も見えなくなってしまった。

それ以降、春から夏にかけて葉っぱ物を作るのはやめた。

枯れ葉の中からカボチャ

11月某日の収穫

また、夏は毎日畑にこれないのなら、マルチをかけたままにして外さないということを学んだ。

二回目の春夏はなかなか畑に行く機会がつくれず、世話がほとんどできずに終わり、もともと植えた種類、量ともに少なかったため、あまり収穫はなかった。

二回目の秋は、大根と白菜を植えた。大根は収穫したが、白菜は冬支度をすれば良いということで、外側の部分の葉で覆って縄を巻き、食べる時まで置いておくことにした。

しかし、一週間後に畑に行くと、白菜は上から、おそらくシカに、ばりばりと食べられ下の方の残骸だけが残っていた。

それ以降、野菜は冬越しさせていない。

三回目の秋は何も植えずに次年度にむけて肥料、石灰を撒き耕し、マルチをかけて置いた。

今年三回目の春、早めになす、ピーマン、トマト、プチトマト､カボチャ､スイカ､キュウリ､なす､ゴーヤの苗を植え、ジャガイモを植えた。

昨年度の秋の終わりの肥料を混ぜた所は生長がよく、プチトマトは夏の初めから、つい最近十月末に株を抜き取るまで食べ切れないほど出来た。

全体として豊作だったと思う。

ただ、トウモロコシも植えていたのだが、収穫し始めたころより、何者かに茎を倒され食い荒らされたため、食べられなかったのが、残念である。

来年は何か対策をたてようと考えている。

そして今回４回目の秋、前回、前々回と比べ野菜が長い期間実をつけている。

カボチャやトマトなど秋の初めにはつるが枯れていたのにいまだに実ができているのである。

土がよくなったのか気候のためかわからないが、今年は全体的に野菜の出来がよかった。

野菜というのは「採れたて」がおいしいのが当たり前だが、同じ採れたてでも今年できたものは前年よりずっとおいしかった。

失敗することも多いが、前回の結果からのんびりと自分なりのやり方で、来年もおいしい野菜を作りたいと思う。

コウノトリ観察の楽しみ

丹後支部　仲井真由子

ここ数年、コウノトリを見に年に数回豊岡に通っています。

きっかけは、丹後支部の研修会でコウノトリの郷公園の見学をしたことです。今住んでいるところから車で30～40で公園まで行けてしまうので、休みの日の朝にふと思い立ってセンターまで行き、1時間ほどコウノトリを眺めて帰ってきます。

１年ほど前には､非公開ゾーンの一般公開があり、いそいそと出かけました。普段は見られないカップル形成中のケージや、集団で飼育されている大型ケージなどを見ることができました。また、要所要所に飼育を担当されている職員の方が立っておられ、見学者の質問に丁寧に答えてくださいました。

開場してすぐに行ったこともあり、他に人がほとんどいなかったのをいいことに職員さんを一人30分以上独り占めして質問攻めにしてしまいました。コウノトリはケージの中から豊岡での太陽の位置を見て憶えているので、放鳥されてさほど経たない鳥が四国まで行っても迷わず戻ってこられるんだ（１年を通じた太陽の位置を知っている鳥のほうがより迷いにくいらしい）とか、カップルは年によって組み合わせが変わることもあるとか。

放鳥個体にヒナが生まれると、もう興味津々で毎日ホームページの観察記録をチェックしています。

今、一番の関心は野生個体（愛称エヒメちゃん）と放鳥個体の繁殖でしょうか。今年は産卵まではいったようなので来年が楽しみです。巣立ったヒナたちもそれぞれで、公園からほとんど出ないものもいれば連れ立って四国や大阪の淀川などまで遠征するものもいます。人間と一緒でアクティブなものやら出不精のものやらいるのでしょうか。兄弟で連れ立っているようなので遺伝的な要因が大きいとも言われています。

不思議なのは京丹後市や与謝野町には来ないことです。豊岡から近い上に、田んぼや畑もたくさんあるのに、何がお気に召さないのか、一向に飛来する気配がありません。　もっと増えてきたら縄張りが広がって丹後でも当たり前に見られるようになるのでしょうか。それとも野生個体（エヒメちゃん）につれられて四国に行ってしまうのか。こういう予想しつつの観察も楽しみの一つです。できれば私が丹後にいる間に1度くらいはきてほしいものです。

みなさんも機会があればぜひコウノトリに会いに行ってください。行かれるのは朝夕がお勧めです。飼育個体の餌の時間なので運がよければ放鳥個体がそれを目当てに続々と飛んでくるのに出会えます。

最近の話題

コウノトリ愛知で目撃　季節外れ、198㌔渡り

兵庫県立コウノトリの郷公園（豊岡市）は21日、国の特別天然記念物コウノトリ２羽が愛知県江南市曽本町の田んぼで目撃されたと発表した。

大迫義人主任研究員は「季節風に乗り移動したとみられるが､２月～４月の繁殖期に渡りをする成鳥が、この時期にこれだけ動くのはほぼ例がない」と話している。

公園によると、コウノトリはいずれも雄で０歳の幼鳥と４歳の成鳥。衛星利用測位システム（ＧＰＳ）のデータによると、総移動距離は約198㌔という。

田んぼで仲良く寄り添う元気な姿を近くの住民が見つけた。体の染料や足輪から同公園の２羽と確認されという。

２羽は19日に公園を飛び立った後、翌20日朝、京丹後市丹後町でも目撃されている。

（京都新聞　09.11.22(月)）

平成21年次家畜伝染病及び届出伝染病の発生状況

（平成21年10月31日現在）

家畜伝染病

整理番号	病　　名	畜　種	発生件数	発生頭羽群数	摘　　要
1	ふそ病	みつばち	3	8	

届出伝染病

整理番号	病　　名	畜　種	発生件数	発生頭羽群数	摘　　要
1	牛白血病	牛	5	5	肉用牛３頭、乳用牛２頭
2	豚 丹 毒	豚	54	71	と場発見（府外）４件　４頭 （府内）50件　67頭
3	アカバネ病	牛	1	1	乳用牛
4	BVD・MD	牛	1	1	肉用牛
5	レプトスピラ症	犬	1	1	レプトスピラ・オータムナーリス

最近の話題

ビフィズス菌でワクチン開発へ　インフル予防などで

神戸大医学部感染症センターの白川利朗准教授や京都薬科大の加納康正名誉教授らの研究グループと医薬品会社「森下仁丹」（大阪市）が３日までに、ビフィズス菌を使い免疫効果を高め、インフルエンザ予防などに役立つ経口ワクチンの開発手法を確立した。

研究に参加した石川県立大生物資源工学研究所の片山高嶺準教授は「実用化には10年以上かかるが、ビフィズス菌を使ったワクチンはほかに例がないのでは」と話している。

これまでは、さまざまな感染症の病原体に対する抗体のもとになる抗原を、ビフィズス菌の内部にしかつくることができなかった。

しかし今回、片山准教授が研究する遺伝子を導入することで、ビフィズス菌の外側に抗原をつくることに成功。試験ワクチンをマウスに投与すると、従来より抗体量が10倍以上増えたという。

ビフィズス菌を使った経口ワクチンは常温保存や大量生産が可能な上、筋肉に注射する通常のワクチンに比べ、消化器官や呼吸器官の粘膜組織にも働くため、より高い免疫効果が期待でき、インフルエンザのほか腸チフスなどの感染症予防に役立つ可能性が高いという。　（京都新聞　09.12.4日㈮）

国内でのBSE発生状況

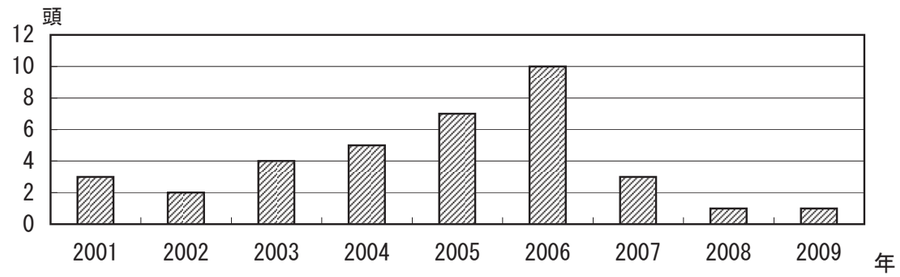
○　発生地別　（頭）

	北海道	福島県	千葉県	神奈川県	埼玉県	奈良県	和歌山県	岡山県	広島県	長崎県	熊本県	計
ホルスタイン種	22	1	1	2	1	1	1	1	1	0	1	31
黒毛和種	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
計	25	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	36

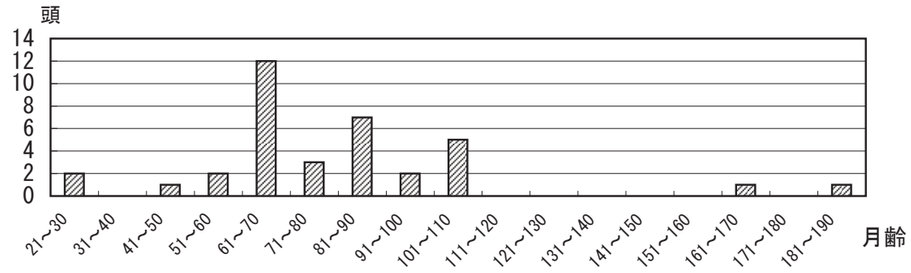
○　生産地別　（頭）

	北海道	栃木県	群馬県	神奈川県	兵庫県	島根県	長崎県	熊本県	計
ホルスタイン種	26	1	1	2	1	0	0	1	32
黒毛和種	2	0	0	0	0	1	1	0	4
計	28	1	1	2	1	1	1	1	36

国内におけるBSE発生頭数の年次推移



国内におけるBSEの月齢別構成



世界の飼育牛におけるBSE発生報告数

出典：OIE（2009年10月14日現在）

国＼年	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	計
オーストリア													1				2	2	1			6
ベルギー									1	6	3	9	46	38	15	11	2	2				133
カナダ					1										2	1	1	5	3	4	1	18
チェコ共和国													2	2	4	7	8	3	2			28
デンマーク				1								1	6	3	2	1	1					15
フィンランド													1									1
フランス			5		1	4	3	12	6	18	31	161	274	239	137	54	31	8	9	8		1,001
ドイツ				1		3			2			7	125	106	54	65	32	16	4	2		417
ギリシャ													1									1
アイルランド	15	14	17	18	16	19	16	73	80	83	91	149	246	333	183	126	69	41	25	23	6	1,643
イスラエル														1								1
イタリア						2							48	38	29	7	8	7	2	1		142
日本													3	2	4	5	7	10	3	1		35
リヒテンシュタイン										2												2
ルクセンブルグ									1					1			1					3
オランダ									2	2	2	2	20	24	19	6	3	2	2	1		85
ポーランド														4	5	11	19	10	9	5	4	67
ポルトガル		1	1	1	3	12	15	31	30	127	159	149	110	86	133	92	46	33	14	18		1,061
スロバキア													5	6	2	7	3		1			24
スロベニア													1	1	1	2	1	1	1			8
スペイン												2	82	127	167	137	98	68	36	25		742
スウェーデン																		1				1
スイス		2	8	15	29	64	68	45	38	14	50	33	42	24	21	3	3	5				464
イギリス	別表参照																					
アメリカ																	1	1				2

イギリスにおけるBSE発生報告数

（2009年9月30日現在）

	オルダーニー島	グレートブリテン	ゲルンジー	マン島	ジャージ島	北アイルランド	合計
1987年以前		442	4				446
1988		2,469	34	6	1	4	2,514
1989		7,137	52	6	4	29	7,228
1990		14,181	83	22	8	113	14,407
1991		25,032	75	67	15	170	25,359
1992		36,682	92	109	23	374	37,280
1993		34,370	115	111	35	459	35,090
1994	2	23,945	69	55	22	345	24,438
1995		14,302	44	33	10	173	14,562
1996		8,016	36	11	12	74	8,149
1997		4,312	44	9	5	23	4,393
1998		3,179	25	5	8	18	3,235
1999		2,274	11	3	6	7	2,301
2000		1,355	13			75	1,443
2001		1,113	2			87	1,202
2002		1,044	1		1	98	1,144
2003		549				62	611
2004		309				34	343
2005		203				22	225
2006		104				10	114
2007		53				14	67
2008		33				4	37
2009		5				2	7
計	2	181,109	700	437	150	2,197	184,595

治療時はもちろん、
治療後までしっかりサポート
する新しい「がん保険」!!

＼新登場／
生きる気持ちに、本気で応える
アフラックのがん保険f
フォルテ

今や2人に1人は
「がん」になる※と
言われる時代。
だから…

※東京大学医学部附属病院
放射線科准教授 緩和ケア診療部長
中川恵一著「ビジュアル版がんの教科書」

がん診断後２年目以降も
ライフサポート年金で
回復をサポートします。
そのほか、日数無制限の
入院保障や通院、手術、
先進医療など、がん治療を
幅広くサポートします。

アフラックは「がん保険」も「医療保険」も
契約件数 No.1 （平成19年版「インシュアランス生命保険統計号」より）

アフラックのがん保険f（フォルテ）
トータルケアプラン300S
（1倍・入院給付金日額10,000円コース）〈保険期間：終身〉

がんの保障
診断一時金として がんの場合（1回限り） 100万円 上皮内新生物の場合（1回限り） 10万円
＋
ライフサポート年金 がんと診断後2年目以降の年金（生存されている場合）
2年目（1年につき） 年金50万円 3年目（1年につき） 年金50万円 4年目（1年につき） 年金50万円 5年目（1年につき） 年金50万円
2年目以降再発の有無にかかわらず毎年50万円を4年間受け取れます。（生存されている場合）
入院 日数無制限 1日につき 10,000円
その他にこのような保障があります。 手術・先進医療・通院・死亡

記載している保険料および保障内容などは2008年1月28日現在のものです。
※商品内容について詳しくはパンフレット（契約概要）をご請求の上ご覧下さい。

ここが新しい
さらに、がんと診断確定後、治療方針が決まるまで精神的負担をサポートします。
・「がん患者専門カウンセラー」による訪問面談
・専門医紹介
「生きる」を支えるプログラム〈プレミアサポート〉をご利用いただけます。このサービス〈プレミアサポート〉は、株式会社 法研が提供します。
「生きる」を支えるプログラム プレミアサポート

◆保険料は集団取扱契約のため割安です…
● 20名以上のご契約を条件に、個別にご契約されるより保険料はお安くなっています。
● 退職（脱退）されても、契約をご継続いただけます。（保険料は個別料率に変わります。）

月払保険料 （1倍・入院日額10,000円コース）〈集団取扱／保険料払込期間:終身／解約払戻金無しタイプ〉契約年齢0歳～満80歳

契約年齢	20歳	30歳	40歳	50歳
男女共通	2,551円	3,549円	5,012円	7,000円

【ご確認ください】
この広告は商品の概要を説明しています。詳細につきましては「パンフレット（契約概要）」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

〈引受保険会社〉
Aflac
アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）
京都支社
〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8
京都三井ビル6F Tel.075-241-4534

〈募集代理店〉
関西アイエヌエスサービス（株）
0120-54-7373 FAX 075-251-7377
〒604－8162 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町626 烏丸小泉ビル7F
AF028-2008-0007 2月22日

京都微研は人と動物との共生をテーマに社会に貢献していきます

牛用

イバラキ病ワクチン-KB
牛流行熱ワクチン-K-KB
"京都微研" 牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン
IBRワクチン-KB
IBR・BVD・PI生ワクチン
"京都微研" 牛4種混合生ワクチン-R
"京都微研" 牛5種混合生ワクチン
"京都微研" キャトルウィン-6
アカバネ病生ワクチン
"京都微研" 牛異常産3種混合不活化ワクチン
"京都微研" 牛RSワクチン
"京都微研" 牛嫌気性菌3種ワクチン
"京都微研" キャトルウィン-CI5
"京都微研" 牛ヘモフィルスワクチン-C
"京都微研" キャトルバクト3
"京都微研" 牛コロナワクチン
"京都微研" 牛下痢5種混合不活化ワクチン

鶏用

NDワクチン-KB
"京都微研" IB生ワクチン
"京都微研" NB生ワクチン
"京都微研" ILTワクチン
"京都微研" IBD生ワクチン
"京都微研" ND・OEワクチン
"京都微研" ニワトリ4種混合ワクチン
"京都微研" ニワトリ5種混合オイルワクチン-C
EDS-76オイルワクチン-C
"京都微研" ニワトリ6種混合オイルワクチン
"京都微研" ポールセーバーIB
"京都微研" ポールセーバーMG
"京都微研" ポールセーバーEC
"京都微研" ポールセーバーOE8
"京都微研" ポールセーバーSE/ST

犬用

狂犬病ワクチン-TC
イヌパルボ不活化ワクチン
"京都微研" キャナイン-3
"京都微研" キャナイン-6Ⅱ
"京都微研" キャナイン-8
"京都微研" キャナイン-9
"京都微研" キャナイン-9Ⅱ
キャナイン-パルボ・チェック

豚用

豚丹毒ワクチン-KB
"京都微研" 日本脳炎ワクチン
"京都微研" 日本脳炎ワクチン-K
"京都微研" 豚パルボ生ワクチン
"京都微研" 豚パルボワクチン-K
"京都微研" 日本脳炎・豚パルボ混合生ワクチン
"京都微研" 豚死産3種混合生ワクチン
"京都微研" 豚インフルエンザワクチン
"京都微研" 豚ヘモフィルスワクチン
"京都微研" 豚大腸菌ワクチン
"京都微研" ARコンポーネントワクチン
"京都微研" 豚アクチノオイル3価ワクチン
"京都微研" 豚丹毒オイルワクチン
"京都微研" ピッグウィンAR-BP2
"京都微研" ピッグウィン-EA
"京都微研" マイコミックス3

馬用

"京都微研" 日本脳炎ワクチン-K

猫用

"京都微研" フィライン-CPR
"京都微研" フィライン-4
"京都微研" フィライン-7

水産用

"京都微研" マリナレンサ
"京都微研" マリナコンビ-2

診断液・試薬

ヨーネスクリーニング・ブルキエ
（牛ヨーネ病スクリーニング用エライザキット）

微生物農薬（植物ワクチン）

"京都微研" キュービオZY-02
（ズッキーニ黄斑モザイクウイルス弱毒株水溶剤）

株式会社 微生物化学研究所
〒611-0041 京都府宇治市槇島町24、16番地 TEL(0774)22-4518

We are an innovation-driven leader in the provision of products and solutions which enhance the health well-being and performance of animals

動物薬の新世紀へ

メリアル・ジャパン株式会社
A Merck Sharp & Dohme and Aventis Company
www.merial.co.jp

犬	カルドメック® エナカルド® ユーリカン
犬・猫	フロントライン® ケトフェン® ウイットネス
猫	カルドメック®
牛・豚	アイボメック®
豚	ハイオレスプ
馬	エクイバラン® ペースト
鶏	各種ワクチン

®はメリアルの所有登録商標

The Best Service For You,
The Selected Client.

INSURANCE COMPANY AIU

選ばれたお客様にベストなサービスを

……AIUのモットーです。

交通事故　労働災害　賠償事故　火災・爆発事故

AIUは、自動車・火災・傷害等あらゆる保険を取り扱っています。

AIU保険会社

京都支店　TEL 075－223－1651
〒604-8790　京都市中京区烏丸通三条下ル
大同生命京都ビル7階

●お問い合わせ、お申し込みは…
（担当）　Ken's Planning
山本事務所
〒612-8428
京都市伏見区竹田西桶ノ井町19-203
TEL 075－605－8212

ご加入のおすすめ
自営業など国民年金にご加入されている皆様へ

国民年金基金

ゆたかな老後のために今から準備を！

国民年金（老齢基礎年金）とセットで年金をふやしませんか。

長い老後生活を生涯サポート
公的な年金で安心、有利
早めの加入がお得です

加入できる方
国民年金保険料を納付中の「国民年金第1号被保険者」の方です。（60歳未満）

●お問い合わせ、資料請求は
京都府国民年金基金
〒604-0857
京都市中京区烏丸通二条上ル西側上ルS.C.Gビル6F
フリーダイヤル 0120-65-4192（ローゴ ヨイクニ）　TEL (075) 212-8415
ホームページアドレス　http://www.kyoto-kikin.or.jp/

Pfizer

今年の私は、ノミ＋3駆除。

フィラリア
回虫
ミミヒゼンダニ

レボリューション®6%は、優れたノミ駆除効果のスポット剤。
同時に、フィラリア、回虫、ミミヒゼンダニから猫をまもります。

動物用医薬品
要指示

新発売

製品特長

▶ **成分：**主成分「セラメクチン」は、新しいマクロライド系駆虫薬。殺虫剤に属さず、強い殺ノミ活性を示し、単独で内部・外部寄生虫の駆除と予防が可能です。

▶ **有効性：**猫のノミに対する駆除は、速効でかつ1ヵ月持続。同時にフィラリアの寄生予防、回虫およびミミヒゼンダニの駆除にも有効です。

▶ **用法：**投与の簡単な月1回のスポット剤（滴下式）。投与後、速やかに皮膚から吸収され、2時間後には、シャンプーしても有効性に影響はありません。

▶ **安全性：**6週齢の子猫から、妊娠中・授乳中の猫にも使用可能な安全性の高い製剤。フィラリア寄生猫に対する安全性も確認されています。

▶ **オーナーへの安心の提供：**猫の体内に吸収されて作用。速乾性で、乾燥後、安心して猫を抱いたり、一緒に寝たりでき、スキンシップを妨げません。

本剤1mL中、セラメクチン60mgを含有する。体重1kgあたり、セラメクチン6mgを基準量とした投与量を肩甲骨前方の背面部皮膚に滴下する。

有効成分「セラメクチン」
レボリューション®6%

フィライザー株式会社　pfizer Pfax　TEL 0120-317855　FAX 0120-317865　http://www.animalhealth.pfizer.co.jp

編　集　後　記

今年もいよいよ押し詰まりました。昨年に続き、リーマンショックからの立ち直りが難しく、ドバイショックも加わって日米の円、ドルはシーソーのようにめまぐるしく変わっています。国内ではデフレ宣言がなされ、景気は回復のきざしが見えません。今年の流行語は「政権交代」だそうですが、今のところ、なんとも腰の据わらない運営のようです。一刻も早く「安定政権」となって、為政者には高齢化した日本が若返りできるように、力強くリードしてほしいものです。

紫友110号の編集に当たり、今回は多忙な中で、果たして出来るのかと心配でしたが、編集員の皆さんの熱心な取組み、ご協力により、早期にたくさんの原稿が集まり本当に助かりました。感謝しています。広報担当の吉岡理事さんや事務局の田中さんの絶大なご支援にも感謝します。

編集に携わっていて感じることは、会員の皆様が紫友を愛して頂いていること、活動状況を仲間である会員に読んでいただこうという熱意です。自分たちが獣医師であることに誇りを持ち、府民の皆さんに喜んでいただける仕事や活動をしていることを仲間に知らせて、共有したいということだと思います。人や動物に対する思いやりにあふれる原稿に触れる度に、このような仲間に原稿をいただける幸せを感じます。写真もたくさん届けていただきましたが、編集の都合により独断で一部を割愛させていただきました。お許しください。

会員の皆様、お正月は紫友をお読みいただいて、どうかよいお年をお迎えください。

編　集　委　員　名

委員長	比留木　俊　信（総合部会）
委　員	岡　本　裕　行（山城支部）
〃	米　沢　美　樹（京都支部）
〃	杉　浦　伸　明（南丹支部）
〃	西　井　義　博（中丹支部）
〃	吉　岡　武　雄（丹後支部）
〃	渡　邊　昌　英（産業動物部会）
〃	兼　光　弘　章（小動物部会）
〃	三　影　博　司（公衆衛生部会）
〃	櫻　田　孝　之（行政担当）
本部事務局	原哲男、吉岡弘陛、比留木俊信、田中かほる

京都府獣医師会会報

平成21年12月16日発行

第110号

発　行　所　社団法人　京都府獣医師会
〒600-8881
京都市下京区西七条掛越町65
京都獣医畜産会館内
TEL 075-313-4728　FAX 075-313-4813
ＵＲＬ：http://kyotofu-jyui.or.jp/zigyou.html
E-mail：info@kyotofu-jyui.or.jp

発行責任者　原　　哲　男

印　刷　所　株式会社　今井プリント